

紹興宝巻研究2 付「双英宝巻」校注影印

著者	上田 望
雑誌名	平成21(2009)年度科学研究費補助金 特定領域研究 研究成果報告書
巻	2005-2009
ページ	1-103
発行年	2009-03-01
URL	http://hdl.handle.net/2297/18412

紹興宝卷研究 2

付「双英宝卷」校注影印

課題番号：17083019

平成20年度科学研究費補助金
特定領域研究／東アジアの海域交流と日本伝統文化の形成
散楽の源流と中国の諸演劇・芸能・民間儀礼に見られる
その影響に関する研究（演劇班）・研究成果報告書

平成21年3月

研究分担者 **上 田 望**
金沢大学人文学類准教授

目 次

序 1
「双英宝卷」解題（上田 望） 3
付録	
「双英宝卷」校注及び影印（上田 望・施 凱盛・林 志英 校注） 19

序

本報告書は、平成 20 年度科学研究費補助金特定領域研究「東アジアの海域交流と日本伝統文化の形成」の「散楽の源流と中国の諸演劇・芸能・民間儀礼に見られるその影響に関する研究」（演劇班）の成果の一部をまとめたものである。

この数年、浙江東部の寧波や紹興地域で重点的に調査をおこなってきており、紹興の芸能「宣卷」については、平成 18 年度の報告書でも詳しく報告し、あわせて紹興県福全鎮下俞村（当時）で入手した「双状元宝卷」を校訂し、原本の写真とともに公表している。その後の調査で、さらに紹興県漓渚鎮の張大斯氏所蔵の 2 種類の宝卷資料を俞邦民氏を通じて入手したので、本報告書ではそのうちの一つである「双英宝卷」について解題を作成し、前回と同様に注釈を加え校訂テキストと写真を公表することとした。

「双英宝卷」の内容等については解題で詳述することにしたいが、中華民国期に石印本「梅花戒宝卷」が出ており、これについては古屋明弘、氷上正、王福堂三氏の詳細な注釈を加えた校訂テキストが早稲田大学古籍文化研究所・説唱文学研究所から刊行されている。読み物として販売されていた石印本のテキストと、今回、世に問う上演用テキストとの精密な比較対比によって、今後さらに芸能研究の発展が期待できるであろう。紹興方言を含む手抄本であるため、誤読もあろうかと思われるが、影印と校注本の公開を通して大方のご批正を願う次第である。

最後になったが、本研究では校注作成に関し林志英氏（当時、北京大学中文系碩士課程在籍）、施凱盛氏から協力を得た。特に施氏には呉方言のネイティブスピーカー（寧波市出身）としていろいろと貴重なご助言を賜った。また、「梅花戒宝卷」の翻字並びに注釈からは先行業績として多くの教示を受けている。ここに改めてご支援・ご教示を賜った方々のお名前を記し、謹んで感謝の意を表したい。

2009 年 3 月 22 日

上 田 望 記

「双英宝巻」解題

上 田 望

1. 「双英宝巻」の梗概

上本

大唐永徽年間（650 - 655 年、高宗）、浙江省寧波府定海県に王応文という 16 歳の若き書生がいた。応文の父、王廷貴はかつて首相をつとめたほどの人物であったが、父も母親張氏もすでに世を去り、王徳という奴僕が応文に仕え、世話をやいていた。

黌門に入り、勉学に打ち込んでいた応文であるが、思うように志を遂げることができない憂さを晴らそうと、書童の王興とともに 8 月 18 日の大潮を觀に行く。潮が来る前に潮神廟を參觀していた応文は、善男善女が参詣しているのを見て、自分が功成り名を遂げた暁にはこの廟を焼き捨てさせると言い、潮神を邪神よばわりして潮神の怒りを買う。

応文が文曲星の生まれ変わりであり、また彼の伴侶となるべき女性が福建泉州府にいることを知っている潮神は、夜叉に命じて応文を潮に巻き込み無傷で晋江県に運ばせる。

書童は屋敷に帰って難を王徳に知らせ、王徳は河辺に駆けつけるが遺体を見つけることもできず、応文の位牌を設けて供養する。

潮に流された応文は晋江県の海で漁師阿二、阿三の網にかかり、砂浜にうち捨てられる。気がついた応文は通りがかりの老人に自分が今いるところが泉州府晋江県だと教えらる。

近くの川で水浴びをして身を清めていた応文は、洗って乾かしていた服をこそ泥の白望光に盗まれてしまう。

そこへ、母親の命で米をとぎに楊完英がやってくる。楊完英はこの地で食堂を営む楊天標と紹興府山陰県出身の妻との間に生まれた娘で十六歳。彼女は一時期、隣の駱府のお嬢様と姉妹のように一緒に暮らしていたが、このとき実家に帰ってきていたのであった。応文のあらねない姿におろおろするばかりの娘に代わって楊媽媽が応対し、応文に自分のお古の衣裳を着せ、家に連れてくる。応文は完英の部屋に通され、そこで食事を持って来てくれた完英に身の上を語り、彼女に結婚を申し込む。完英も承諾し、誓いのしるしとして梅花戒を応文に贈る。

楊天標は文房具を取るために完英の部屋に入った時、眠っていた応文を見つけ女芸人（鳳陽婆）と勘違いし、虎にでも喰われるとばかりに東門外の山に担いでいって棄てる。それを見て楊媽媽や完英は悲しむがなすすべがなかった。

目を覚ました応文は一文無しでどうすることもできないため、山を下りて城内の四つ辻で物乞いをする。（祈福の唱詞 44 句）

晋江県に住む首相の駱賓は、夫人李氏のとの間に七人の息子と一人の娘をもうけ、息子たちはいずれも役人になり結婚していた。一人娘の駱姣英は十六歳で、皇帝の仲立ちで潼関を守る平西王沈崇の息子沈標と婚約していたが、沈標が醜くて乱暴者との噂を耳にし、母親の李氏は行く末を気に病んで身罷り、娘も一日泣き暮らし自ら命を絶とうとする始末で、ほとんど困り果てて引退を考えていた。

ある日、駱賓は侍女たちに姣英を街へ気晴らしに連れて行くように命じ、娘が笑ったら

褒美を取らせると約束する。

姣英は部屋に閉じこもって自分の不幸を嘆いていたところに、七人の兄嫁たちが来て、彼女を花園へ連れ出す。桂花を見ても姣英の心は鬱々として楽しまず、尼になりたいと言うため、今度は海棠、梨花を見せるがやはり喜ばない。

そこで、侍女たちは花園の外に連れ出そうと門を開けたところ、女装した狂女のような応文が通りかかり、姣英は思わず笑い出す。侍女から報告を受けた駱賓は、なぜ男の応文が女装しているのか問いただす。

応文は自分の身元を隠し、元の主人に殺されそうになったため、女装して逃げ出してきたのだと偽りを述べる。駱賓は応文の挙措が典雅なのを見て気に入り、書童として「新来」という名を与え屋敷に置くことにする。応文は奥に入って、七人の若夫人や姣英たちに挨拶をすませる。

さて、沈栄は天下を奪おうと企み、黒元帥を使わして高麗国から十万の兵を借りようとしていた。さらに駱家も味方につけようと、息子の沈標を泉州府晋江に行かせて駱姣英と婚礼を挙げるよう命ずる。船で泉州にやって来た沈標は、城内で適当な屋敷を見つけ公館として借り上げ、下僕を駱府へ使わし婚礼を催促する。

下本

駱賓のもとへ沈標からの書き付けが届く。駱賓は沈標が逗留する西街の屋敷に挨拶へ赴く。沈標が無礼なだけでなく、学のない乱暴者であることを知り、また皇帝を盾に婚姻を迫るのを見て駱賓は腹を立てて帰ってしまう。

さて、応文は姣英の才識がどれほどのものか確かめようと、姣英の部屋に潜り込むが、姣英に見とがめられる。姣英は応文が身につけている梅花戒が、以前、自分が楊完英に贈ったものと同じであることに気づき、真相を確かめようと応文から借り受ける。

侍女から沈標が晋江にやってきたことを聞いた姣英は自分の悲運を嘆いているところに、応文が口をはさむ。姣英は梅花戒の出所について詰問し、応文は完英との婚約のしるしであることを明かす。姣英は完英の幸せをうらやみ、それに引き替え自分の不運を嘆く。

完英の不幸に同情している応文を見て駱賓は訝しみ、彼の素性を問いただす。応文は事情を包み隠さず話す。駱賓は応文が自分と旧交のあった亡き王廷貴の息子であることを知って驚き、喜ぶ。そして応文が科挙を受験するために上京できるよう支度を調えさせ、応文は出立する。

さて、姣英は沈標との結婚を嫌がり、夜中に自殺をはかるが、兄嫁たちによって助けられる。

沈標は変装して駱府の花園へ潜り込んで様子を窺う。姣英の看病のために花園で遊ぶ機会のなかった侍女たちは、姣英や兄嫁たちに化けて花園で気晴らしをしようとする。姣英に化けた侍女が「結婚の初夜に洞房で酒に酔った沈標を刀で刺してやる」と言っているのを盗み聞きした沈標はびっくりして潼関に急ぎ帰る。沈標の報告を受けて怒り心頭の父はすぐさま婚約破棄の書状をしたため、武官に晋江の駱府へ届けさせる。駱賓は息子の嫁たちと協議し、急ぎ上京する。

破談になったことで元気を取り戻した姣英は、完英を駱府へ招く。やって来た完英に姣英は自分が贈ったあの梅花戒はどうしたかと尋ねる。嘘をつく完英に、姣英は梅花戒を取

り出して見せ、観念した完英は経緯を語り、梅花戒を贈った応文とはその後連絡が取れないと話す。姣英はそれを聞いて、事情を説明し、応文が科挙のため上京したことを告げ、完英をうらやむ。

唐の朝廷では朝議が開かれ、沈栄は駱賓が勝手に婚約を破棄しようとしたと訴えるが、駱賓は反駁し沈栄が寄越した婚約破棄の書状を証拠として提出する。さらに黒元帥も沈栄の謀叛の企みを示す書状を提出したため、沈栄、沈標父子は辺境へ流罪となる。

さて、考場では吉天祥の監督のもと、試験が実施されていたが、応文は見事な成績で状元となる。もう一人の受験生は下品な解答をして考場からたたきだされる。

皇帝は殿中で叩頭する応文に面を上げさせて、彼が容姿端麗であることを認め、また彼の上奏を許し、楊天標を七品の官、王徳を八品の官、楊完英を二品淑徳夫人とし、さらに皇帝が媒酌人となって駱姣英を一品淑徳夫人として娶らせることとする。

この吉報を得た晋江の駱府では、すぐに楊天標夫婦を招いて状況を語り、ともに喜び合う。応文は寧波の家を訪ね、応文がすでに亡くなっていると思っていた王徳を驚かすとともに、彼のこれまでの恩義に感謝する。

応文はさらに定海県の鄭知県に潮神廟を修理するよう要請する。数日後、修理が完了し応文は参拝して願ほどきをすませる。

駱家の父娘、楊家の親子が定海県の王宅を訪れ、婚儀が執り行われる。

月日が経ち、姣英、完英それぞれの夫人は一男一女を産む。ある日、二夫人は来世のために修行の道に入りたいと話し合う。そこへたまたまやって来た夫にも、はやく俗世と縁を切り修行の道へ入るよう勧める。応文も同意し、任期が満了すると夫婦三人で修行につとめる。

楊天標夫妻も子供たちにならい仏道修行に励み、寿命が尽きると病に苦しむこともなく世を去る。三十年後、太白金星が玉皇大帝の聖旨を持って訪れ、応文は文曲星、姣英、完英は月宮仙女の生まれ変わりであったが、彼らがもとの位に戻ることが許され、彼らの二人の息子たちも皇帝のそばに仕えて出世し、子孫は繁栄した。

2. 「双英宝巻」と「梅花戒宝巻」

「双英宝巻」（以下、「双英」と略）は、上本の冒頭に「恭聞双英宝巻名曰梅花戒……」とあるように、「梅花戒宝巻」（以下、「梅花戒」と略）のふたつ名もある。

「梅花戒」については、民国期に出版された石印本が多く存し、これらについては車錫倫『中國寶巻總目』（北京燕山出版社，2000年，以下『車目』と略）第176頁に著録されている（「双英」については第257頁に著録）。

また、「梅花戒」の校注本としては、古屋明弘、氷上正、王福堂共編『梅花戒寶巻 影印・翻字・注釈』（中国古籍文化研究所単刊3 2004年）があり、同書の氷上正著「解題」でも「梅花戒」の書誌情報が『車目』から転載されているのでここでは取り上げないことにする。

では、「双英」と「梅花戒」は同じ鋳型から作った同一の作品なのかということそうではない。筆者の見るところ、8割方は同内容の唱詞や説白であるが、細部にわたっては異同が散見される。唱詞と説白でそれぞれ例を挙げてみる。

双英宝卷上本

〔完〕 咳，我好命苦嚇：

完英無奈便抽身 手執筐籃走出門 將身來到河埠口 只見男兒水中浸
心中發慌紅了臉 慌忙回轉店堂門 關了房門呆了立 〔丑〕 走出媽媽問原因

梅花戒宝卷卷上第 3 葉 a

〔旦〕 阿吓，我好苦吓。

完英無奈便抽身 滿面淒涼暗傷心 想起當初在相府 梅香伏侍甚殷勤
今日洗菜來粗做 怎當丫嬛使用人 母親之命難違逆 無奈勉強往外行
手執淘籬筐籃走 玉指尖尖就開門 行來已是河埠口 抬頭只見有人身
滿面含羞紅了臉 慌忙移步退轉身 關門進內呆呆坐 走出楊媽媽問分明

母親の楊媽媽の言いつけで米を研ぎに行く楊完英の不満と、彼女があられのない姿の王応文に出くわして逃げ帰る場面を描写する唱詞である。「双英」、「梅花戒」ともに同系統のテキストに拠っていることは明白であるが、一方で「双英」はかなり唱詞が少なく、これは伝承の過程で省かれたか、欠落したのではないかと考えられる。

双英宝卷上本

〔丫〕 嘎咦，小姐已要發惡亂者，噲，少夫人喂，看小姐 心事勿寧，𠵿丫頭倒有個主意
來帶，勿如開之園門，外面是條小街， 有走索個，嬉罐個，嬉彩瓶個，變大戲法個，
起看看街景也好消愁解悶。

梅花戒宝卷卷上第 6 葉 a

〔雜〕 噲，夫人。 小姐他有心事， 丫嬛倒有個主意
在此。勿如開了園門， 是個小街。鬧中取靜，走索 嬉缸弄罐，多少鬧熱。
看看 也好消愁解悶。

沈標との縁談を嫌がり、気分のすぐれないお嬢様を笑わせるために、侍女が花園から外へ気晴らしに出てはどうかと若夫人に提案するせりふである。両者にやはり若干の相違が見られるが、「双英」のほうが、紹興方言の第一人称複数形式の「𠵿」、虚詞化した「個」、これまた虚詞の「帶」（近指）など、このケースに限れば口語（方言）をより多く用いていると言える。

これは「双英」が上演本であるために、特にせりふの部分に就いては、絶えずより生き活きとした口語を使用せざるをえないためであろう。

ちなみに、「双英」で呉方言のせりふがあるのは、王徳（王応文の奴僕、但し彼は王応文とは普通話で対話）、王興（王応文の書童）、大衆（観潮時）、漁師の阿二、阿三、白望光（こそ泥）、楊天標、楊媽媽（丑）、駱府の侍女たち、沈標（丑）、科挙の受験者（丑）、婚礼の介添役であり、節目ごとに彼らが登場し、方言で滑稽なやりとりを展開し場を和ませる働きをしている。

このほか、ストーリーの展開にも関わってくる大きな違いとしては、以下のような個所

が指摘できる。

・祈福の唱詞：「双英」上本

一文無しで放り出された王応文が四つ辻で物乞いをする場面で、「哀求開店開廠老闆們發財銅錢丟幾文」以下、道行く様々な職業、階層の人々に喜捨を請う唱詞が延々と続く。

これとほぼ同様の唱詞が「双状元宝卷」でも見られ、実際に上演される宝巻には予祝芸能としての性格が元来あったと考えられる。「梅花戒」にはこの唱詞は全くないが、石印本として刊行する際に、読み物には不必要ということで削除された可能性が高い。

・沈標が潼関に戻ったあと

「双英」では沈標が怒って潼関に戻った場面のもと、すぐに潼関の沈栄の話に場面が切り替わるが、「梅花戒」では、駱賓と駱姣英がこの問題について相談し、姣英が破談になるのを喜ぶ唱詞がある。「双英」ではこここのところに「宣到此處停三回」という句があり、一つの区切りとなっているので、上演時間の都合などで省かれてしまった可能性がある。

・沈栄父子の末路

朝議の場で謀叛の企みを暴かれた平西王沈栄と沈標は、「梅花戒」では「斬首示衆」という結末になるが、「双英」では、めでたい席や葬儀の場でも上演されるため、「死」という結末を忌避し、罪一等を減じて辺境へ流罪という処分になっている。

・試験場の場面

王応文は上京して科挙に応じるが、試験場での試験官とのやりとりなどが「双英」にはあるのに対し、「梅花戒」には何もない。「双状元」にも「双英」とほぼ同じ描写があり、試験官の名前まで同名である。この場面には応文だけでなく道化役も受験生として登場し、笑いを取るところでもある。おそらく紹興の宝巻では欠かせない一幕なのであろう。

・婚礼の介添え役（儋相）

「梅花戒」でも「双英」でも王応文と駱姣英、楊完英が婚礼を挙げる際に介添え役が登場してくるが、「梅花戒」のほうがりふがかなり少なくなっている。「双英」と似た言い回しは「双状元」にも見られる。これは石印本の「梅花戒」が刊行される時点で、不必要な部分と判断され一部カットされたか、反対に紹興の芸能者が自分と同じ儀式進行役だということで介添え役のせりふを増したかであろう。

・婚礼のあと

「双英」と「梅花戒」では婚礼を挙げたあとの描写に顕著な違いがある。

「梅花戒」のほうがり詳しく、二人は応文が夜休む部屋を互いに譲り合い、応文は毎日部屋を変える。父親駱賓は婚礼の1ヶ月後に寧波から上京する。しかしこれらの描写は「双英」には全くない。

・結末（団円）

楊夫妻についてはともに記述があるが、「梅花戒」では駱賓、奴僕の下徳らがどうなったのかは記されていないのに対し、「双英」では駱賓は修行を積んで西天に上り、下徳は天寿を全うしたとある。

また、「梅花戒」では王応文夫妻の間に誕生したのは男の子二人だけだが、「双英」ではそれ以外に娘にも恵まれている。このほか、「梅花戒」では二十年後に太白金星が来るが、「双英」では三十年後となっている。

これらは些細な違いではあるが、「双英」のほうがより「完美」な結末を強調する終わり方となっている。読み物であればこれらは余計な潤色になるが、上演用テキストとしての「双英」では、「雙英寶卷前後四回，恩怨分明，忠孝雙全，大聚團圓，拜謝皇恩天地也。」というコンセプトに合わせた締めくくりとして不自然さはない。

以上、「双英」には紹興で実際に用いられる上演用テキストとして、「梅花戒」とは異なる、上演の場により相応しい特徴を持ったものと言えるであろう。

3. 「双英宝卷」のことばと文体

さらにもう少し詳しく、モノグラム・バイグラム¹を使って「双英」の文体的特徴を見てみる。

【表1 「双状元宝卷」「双英宝卷」で使用頻度の高い単漢字（上位30字）】

	双状元		双英	
1	<u>我</u>	397	<u>來</u>	375
2	<u>人</u>	348	<u>我</u>	281
3	兒	262	<u>人</u>	234
4	<u>來</u>	259	<u>生</u>	225
5	<u>不</u>	206	相	206
6	<u>你</u>	204	<u>一</u>	190
7	<u>一</u>	199	<u>不</u>	188
8	娘	193	小	179
9	<u>是</u>	176	<u>有</u>	178
10	<u>上</u>	162	者	178
11	<u>子</u>	155	姐	173
12	<u>生</u>	152	<u>個</u>	158
13	老	152	得	156
14	<u>有</u>	139	<u>是</u>	142
15	親	137	丫	129
16	<u>心</u>	135	嚇	129
17	<u>家</u>	134	<u>家</u>	129
18	<u>個</u>	120	看	126
19	母	118	<u>到</u>	123
20	日	117	起	122

¹ N-gram のプログラム（極悪氏が morogram の Windows 用実行ファイル）によって使用頻度の高い文字、2 字から構成される語彙を算出している。

21	<u>在</u>	115	<u>你</u>	113
22	爲	111	<u>大</u>	113
23	保	110	<u>子</u>	112
24	見	108	<u>在</u>	111
25	<u>了</u>	105	好	108
26	<u>去</u>	103	<u>心</u>	100
27	<u>大</u>	102	<u>去</u>	99
28	悲	102	花	99
29	<u>到</u>	99	<u>了</u>	97
30	官	98	<u>上</u>	96
字数	17833		19438	

【表 2 「双状元宝卷」「双英宝卷」で使用頻度の高い 2 字熟語（上位 30 語）】

	双状元		双英	
1	<u>狀元</u>	69	小姐	105
2	嬌娘	62	相爺	54
3	<u>夫人</u>	54	應文	51
4	今日	45	<u>夫人</u>	49
5	母親	45	相公	44
6	孩兒	44	姑娘	39
7	母子	40	新來	37
8	大人	39	丫環	36
9	天保	38	完英	32
10	親生	38	世子	29
11	我兒	36	曉得	29
12	老爺	33	大姐	28
13	官人	32	小生	27
14	素珍	32	嫂嫂	26
15	萬歲	30	沈標	26
16	<u>不表</u>	29	來者	25
17	兒子	29	七位	24
18	未知	27	<u>不表</u>	24
19	如此	26	<u>媽媽</u>	24
20	<u>媽媽</u>	26	<u>狀元</u>	23
21	張媽	26	看潮	23

22	爹爹	26	終身	23
23	先生	25	阿伯	23
24	王爺	25	來到	22
25	老夫	25	花園	21
26	一個	24	姣英	20
27	保佑	24	書童	20
28	瑞祥	24	起者	20
29	娘親	23	梅花	19
30	老身	23	阿囡	19
字数	17833		19438	

単漢字、熟語それぞれ「双英」と「双状元」で共通するものに下線を付している。また、「七位」のような数詞＋量詞である程度固定化された組みあわせや、「來到」のような動詞＋補語もランクから除外しなかった。

単漢字では上位 30 字のうち、19 字が共通しており、使っている字からだけ見ればこの両者はかなり似たタイプの作品と言える。「我」「你」などの人称代名詞や、「一」、「人」、「不」（呉語の作品では「勿」）が上位に来るのは、他のジャンルの作品にも見られる普遍的な傾向である。「双英」で、「相」、「小」、「生」、「姐」、「丫」が上位にランクしているのは、これらが役柄を示す記号がわりに多用されていたということも関係しているが、一方でこれらの役柄のせりふや登場場面がいかに多かったかということも表している。

また、「双状元」では「娘」193 回、「親」137 回、「母」118 回など母子関係に関わる字が多用されたのに対し、「双英」では「娘」は 61 回、「親」は 37 回、「母」に至っては 13 回と少なくなっている。ただ、それに代わるものとして「媽」が専ら熟語で 52 回使われているが、それでも「双状元」には遠く及ばない。

続けて熟語のほうを見てみると、「双状元」、「双英」で共通する語彙は、わずかに「夫人」、「不表」、「媽媽」、「状元」の 4 語しかない。これは、バイグラムを調べると、どうしても自称詞や呼びかけ語が上位に来るため、作品の主題が異なれば、当然これらの言葉も変わるために一致する率が低くなるのではないかと考えられる。

さて、この「双英」の語彙の中でいくつか気付いたことを指摘しておく。

・ 状元のタイトルはおまけ

「双状元」では「状元」の使用回数がトップの 69 回なのに対し、「双英」ではその三分の一の 23 回と少ない。これは、「双状元」では科挙に及第して母親を救うというのが一つのテーマであり、二人の息子が状元になるということもあって、使用回数が出たのであろう。それに対して、「双英」では、主人公はもともと天界の神仙であり、最終的な目標は仏道修行を通じて天界復帰を果たすことであるため、状元に「双状元」ほどはウエイトを置かなかったのであろう。

・ 主役はお嬢さん？

「双状元」で最も使われた語彙が「状元」であり、それがその作品のテーマの一つを表しているのだとすると、「双英」で最も多用されたのは「小姐」であり、「双英」のテーマは駱姣英を軸とした結婚、恋愛問題ということになる。「双状元」ではランクインしない「終身」（夫婦の間柄）という語彙が繰り返し用いられているという事実も、この推定を裏付けてくれる。もっとも、男性の主人公王応文は立場によって自称詞や呼びかけ語が、「小生」、「相公」、「新來」、「応文」、「状元」、「下官」などめまぐるしく変わっており、やはり本当の主役は彼だという見方ももちろん可能である。

・父と母

「双英」では、駱首相を指す「相爺」が2番目に多く用いられているのに対し、「双状元」では、「嬌娘」が第2位にランクされているという事実はなかなか興味深い。

「双英」では、主役級の三人のうち、王応文、駱姣英ともに母を亡くしており、明るいキャラクターの楊媽媽を除けば母の影は薄い。その分、娘の縁談の問題で父親が矢面に立ち、悩みを抱えながらいくつもの問題进行处理するため、このように頻度が高いのであろう。

・場面の切り替え

両者ともに多用される語彙に「不表」があり、これは場面を切り替える際に使われる言葉で、たいていは「再表」「提表」などと呼応関係を構成する。この特徴は、江蘇の靖江宝巻などにもよく見られるという²。

「双英」では、「不表」以外に、「慢表」も使われるので、この二つの語彙と呼応関係をなす言葉を表に整理してみる。

【表3 「双英宝巻」に見える「不表」「慢表」の呼応関係】

	不表	慢表
再表	9	4
提表	6	0
要表	2	2
另表	2	0
另有	2	0
無	3	1
	24	7

これにより、「不表」「慢表」を使って非常にパターン化されたやり方で、「双英」では少なく見積もっても32の場面が作り出されていることがわかる。「双英」は全篇で2万字弱であるから、およそ600字ごとに場面の転換がある計算になる。また、これを時間で考えると、紹興の宣巻はおよそ3時間で一種類の作品を唱っているので、毎分100字強のペースで、ほぼ6分ごとに違う場面が変わっていくことになる。演劇と違って宣巻はパフォーマンスが全くといっていいほど無く、視覚的刺激に乏しいため、聴衆（読者）を飽きさせないという意味でも、高速の場面転換は非常に効果的と言えよう。

² 陸永峰、車錫倫共著『靖江宝巻研究』第6章「靖江宝巻的口頭文学特徴（一）」「2. 切

4. 「双英宝卷」の物語構造

「双英」の物語がどのようにして作り出されたのかを考える前に、この物語の内容を時系列に沿って場所と登場人物について整理してみよう。

【表4 「双英宝卷」のタイムテーブル】

		寧波	晉江	晉江(楊家)	晉江(駱府)	潼関	京城
1	開場	王応文、王徳					
2	観潮遇難	王応文、王興、潮神、夜叉					
3	救命		阿二、阿三				
4	問路		王応文、老人				
5	盗衣		白望光				
6	救難			楊天標、王応文、楊媽媽、楊完英			
7	求婚			王応文、楊完英			
8	遺棄			楊天標			
9	漂泊			王応文、楊完英			
10	擔憂				駱賓、侍女		
11	悲嘆				駱姣英、嫂、侍女		
12	開顔				駱姣英、侍女、王応文		
13	留仕				駱賓、王応文		
14	引見				嫂、駱姣英、王応文、侍女		
15	圖謀					沈栄、沈標	
16	下榻		沈標、奴僕				
17	接信				駱賓		
18	逼婚		沈標、駱賓				
19	借戒				駱姣英、王応文、		
20	受驚				侍女、王応文、駱姣英		
21	討戒				王応文、駱姣英		
22	認姪				駱賓、王応文		
23	自尽				駱姣英、嫂、侍女		
24	私訪				沈標		
25	喬装				侍女		
26	帰潼				沈標、奴僕		
27	写退書					沈栄、沈標	
28	退婚				家将、駱賓、嫂		
29	質問				駱姣英、楊完		

換套語」pp155-158 参照。

					英、嫂、侍女		
30	朝議						皇帝、沈榮、駱賓、黑元帥
31	進府				駱賓、楊天標、楊媽媽		
32	考場						王応文、吉天祥、拳子
33	見駕						皇帝、王応文
34	回府	王応文、王徳					
35	還願	王応文、鄭知県					
36	婚礼	王応文、駱姣英、楊完英、駱賓、楊天標、楊媽媽、債相					
37	生子女	王応文、駱姣英、楊完英					
38	求道致仕	王応文、駱姣英、楊完英					
39	同帰原位	太白金星、王応文、駱姣英、楊完英					
40	団円	王徳	楊天標、楊媽媽	駱賓	沈榮、沈標	王公子	

この物語の時代は、唐永徽年間（650年～655年 高宗）に設定されている。主人公の王応文は天界の文曲星が寧波府定海県の首相王廷貴の息子に生まれ変わったことになっている。

王応文の物語の中での動きを見てみると、2の「観潮遇難」で故郷寧波を離れ、22の「認姪」までは、福建省泉州府晋江県の各地を放浪しながら辛酸をなめることになる。そしてそのあとは一旦、物語から姿を消し、32の「考場」において再び都に登場し、34、35で故郷寧波に錦を飾ったあと、元月宮の仙女であった駱姣英、楊完英と結婚する。

王応文が晋江県に流されたのは、観潮のときに潮神を冒瀆したためであり、その罪を償うためにこのように苦難の旅をしなければならなかった（だからこそ35の「還願」の段が存在する）訳であるが、そもそも彼と赤い糸でむずばれていた二人の女性が晋江県にいるために、彼女たちと邂逅するための必然的な流浪の旅であったとも言えよう。

そして王応文とともに重要な役割を果たすのが、駱姣英と楊完英である。王応文が出てこない場面は、沈榮父子を除けば、彼女たちがスポットを浴びる場面が多い³。

裕福な名家に育った駱姣英は、かえってそのために皇帝が決めた不幸な婚約によって苦しみ、自殺を図るまで追いつめられる。一方、楊完英は庶民の家の娘として生まれ変わったために、駱姣英とは別の苦しみを味わう。

物語には書き込まれていないが、これらの試練は彼女たちが文曲星とともに下凡するに際して犯した罪と関わりがあり、贖罪の意味もあるのかもしれない。

³ 南戯の大多数の作品が「一生一旦」であり、生と旦がおののの主役として複線的に語りの構造を作り出していることを想起させられる。郭英徳著『明清伝奇戯曲文体研究』第6章「開放與内斂 - 明清伝奇戯曲的叙事方式（下）」p294 参照。

通常の才子佳人小説であれば、37 で子宝にも恵まれてめでたしめでたしなのであるが、あらかじめ「天仙下凡」という設定になっているため、引き続き 39 で彼らが帰天する場面が用意される。また 40 の「団円」は蛇足の感が否めないが、宗教芸能である「宝巻」という性格上、みなが仏の道に帰依し成仏するという予定調和の上に物語全体が成り立っているとも考えられる。

さて、この「双英」の物語は何か別の作品に拠って改作されたものなのであろうか。

まず考えられるのは、周縁にある他の演劇や講唱芸能から物語が移植された可能性である。

講唱芸能については、譚正璧、譚尋『弾詞叙録』（上海古籍出版社，1981）、譚正璧、譚尋『木魚歌、潮州歌冊叙録』（書目文献出版者，1982）、譚正璧、譚尋『評彈通考』（中国曲芸出版社，1985）、李豫等編著『中国鼓詞綜目』（山西古籍出版社，2006）、盛志梅『清代彈詞研究』（齊魯書社，2008）などにこれと同名、同内容の作品は著録されていない。

演劇では越劇との関連が容易に予想されるところであるが、趙潔編『新編越劇小戲考』（上海文芸出版社，2003）、錢宏主編『中国越劇大典』（浙江文芸出版社、浙江文芸音像出版社，2006）にも「梅花戒」は収録されていない。ところが、不思議なことに「梅花戒」と題する越劇は存在しており、VCD（浙江音像出版社発行）も発売されている。

それによれば、越劇「梅花戒」の梗概は以下のようである。

貧乏書生の陸国章と武生の周孔通は挙試のため上京するが、宿を取りはぐれ、施家荘の花園でそれぞれ休むことになる。その花園で陸国章と施家の千金、施秀英は出会い、お互いに一目ぼれして、将来を誓い合い、施秀英は陸国章に三百銀両と梅花戒を贈り、侍女に命じて陸国章を案内させ花園から送り出す。周孔通はこの話を暗闇で立ち聞きし、機を見て施秀英の操を汚す。

数ヶ月後、陸国章は状元に及第し、施家に求婚にやってくるが、秀英が身ごもっているのを見て、彼女がすでに別の人に嫁いだと勘違いし、梅花戒を返して去る。秀英は泣きたくても声も出せず、潔白を表すために血書をしたため、梅花戒を呑み込んで死ぬ。侍女の秋江は陸に真相を告げ、陸は血書を読んで後悔するも及ばず、周孔通を捉え法に照らして処し、秀英のために恨みを雪いだ。

「一見鍾情」あり、「姦汚」あり、「雪冤」ありと越劇らしい生々しい作品であるが、残念ながら「双英」や「梅花戒」とは同名異物であり、「双英」に関しては越劇と宝巻との間に直接的な継承関係はないと断じてよからうと思う。

5. 「双英宝巻」の地域性

では、結局「双英」はどこで作られたのであろうか。筆者は「双英」の中の次の3点に注目したい。

1) 潮神廟（殿） - 寧波、泉州、杭州を結ぶもの

王応文が潮神の怒りを買ひ、夜叉に風で「江」に落とされ、福建泉州府晉江県に流されることから物語が展開していくことはすでに何度も述べた通りであるが、ではこの潮神廟

とはどこにあるのでしょうか？

「我在寧波把潮看，因何來到福建城」（王応文）と唱われ、また、王応文が登科後、寧波府定海県の鄭知県に潮神廟を修理するよう要請しているため、作品の中では寧波にある廟と理解してよいであろう。

一方、「梅花戒」ではこの「我在寧波把潮看」句がなく、また「潮神廟」に「八月十八」、「觀潮」と来れば、杭州錢塘江の觀潮と杭州の東北にある鹽官鎮の海神廟が有名であり、澤田瑞穂博士がこれを杭州にあるものと考えたのはあながち間違いとも言えない⁴。

筆者が想像するに、これは作者や読者、視聴者の中で寧波と杭州の潮神（海神）廟の残像が重なり合ってしまったためではないかと考える。

寧波府定海県の海神廟についてはまだ確認できていないが、寧波の海神廟ではなんと言っても、媽祖が有名である。黄漸蘇氏⁵に拠れば、宋の紹熙2年（1191）、すなわち媽祖が「妃」に昇格した翌年、福建の船主、沈法詢が明州（寧波）に最初の天妃宮を建てた（遺跡はいまの市内の華聯商厦の南側にある）。浙東地区の大多数の天后宮はみなこの時期（康熙乾隆）に創建されたもので、寧波市だけでも大小40の媽祖廟があるという。また、錢路氏⁶に拠れば、媽祖文化と寧波とのつながりについて、当時、次第に陸路から海上交通にシフトしていくなかで、気象条件などコントロールできないことが多い海路への恐怖心から、福建莆田発祥の外来の神「媽祖」に頼るようになったのだと説明する。

王応文が福建泉州府に流された理由を考えると、潮神の怒りに触れて媽祖信仰の伝播ルートを逆戻りし媽祖の故郷（より厳密に言えば泉州府晋江县ではなく興化府莆田県）へ流されたのだと見れば辻褄があう。

しかしながら、澤田博士も杭州の廟と考えられたように、寧波で「觀潮」とは到底考えにくい。杭州湾の奥で、かつ錢塘江河口という地理的な条件がそろっているからこそ、昔から「觀潮」の名所だったのであり、「双英」の潮神殿は間違いなく海寧の海神廟をイメージしたものを見てよからう。海寧の潮神として祭られているのは、伍子胥である。錢塘江の怒濤は伍子胥が巻き起こすという伝説があり、夜叉に命じて波に王応文をさらわせる潮神のイメージは伍子胥とぴったりである。

寧波 - 泉州と、寧波 - 杭州が媽祖と伍子胥という二人の海神（潮神）と觀潮を通じて結びつき、それが多少混乱を生みつつも、この物語の大きな枠組みを形成しているのではない。

2) 楊媽媽の出身地

「双英」の中で具体的に三個所の地名が出てくる。二つはすでに論じてきた浙江寧波府定海県と福建泉州府晋江县であるが、もう一つは、「浙江紹興府山陰県」である。これは、「討之一個家主婆，乃是浙江紹興府山陰縣人氏」（妻を一人娶ったのですが、それが浙江紹興府山陰県の出で……）とあり、楊完英の母、楊媽媽の出身地とされる。なぜ、ここで

⁴ 澤田瑞穂著『増補寶巻の研究』第2部宝巻提要「梅花戒宝巻」p195 参照。

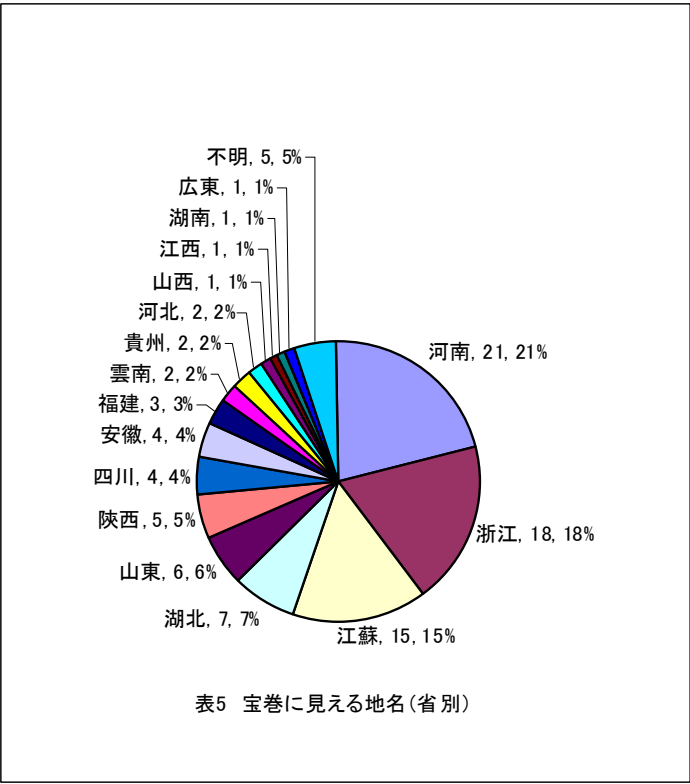
⁵ 黄漸蘇「從慶安会館看清中期媽祖文化地域化的演進」（『浙東文化』第2輯，上海古籍出版社）所収，pp503-504 参照。

⁶ 錢路「慶安会館世媽祖文化」（許勤彪主編『寧波歷史文化二十六講』寧波出版社，2005）所収，p262 参照。

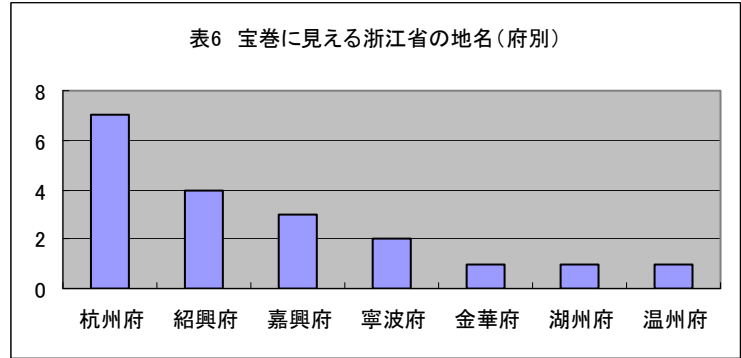
突然、紹興府山陰県という地名を持ち出す必然性があるのだろうか。

そこで、宝巻の作品中にどれくらい具体的な地名が登場するのかを確かめるため、試みに澤田博士の『増補寶巻の研究』の宝巻提要を基に、中国の具体的な地名が記されている82種類の作品について、出てくる地名を省別に整理したものが以下の表5である。提要には作品に見える地名が全て記されているとは限らず、不完全な統計ではあるが、おおまかな傾向を把握するには十分と考える。

これを見ると、浙江の地名が出てくる宝巻は全部で18作あり、出てくる地名は19、これは地名の総数の約18%に相当し、省別では河南に次ぐ第2位である。河南が首位を占めるのは東京（開封）を舞台とする宝巻が多いためであるが、そのなかで江蘇を抑え、2位となっている事実は目を引く。



浙江の地名をさらに府別に分類したのが以下の表6である。



これらのうち、さらに寧波と紹興に絞って詳しく見てみることにする。

寧波が多少関係してくる作品は、この「双英」(= 「梅花戒」) 以外には、普陀山が出てくる「普陀宝卷」しかない。普陀山はもちろん仏教の聖地であるが、宝卷の中では特別な象徴ではなかったようである。

一方、紹興がからむ作品としては、「双英」を除けば以下の通りである。

1. 「烏窩禅師度白侍郎回心向善修行帰西(白侍郎宝卷)」 紹興府李長者が登場。
2. 「英台宝卷」 梁山伯の出身地が紹興府諸暨県(祝英台は越洲会稽杏花村出身)。
3. 「歡喜宝卷」 紹興顕聖寺湛然和尚は実在の人物(澤田瑞穂)。
4. 「百花台宝卷」 紹興府山陰県の莫桂が登場。

典型的な物語宝卷である「英台宝卷」や、弾詞に基づくと推定される「百花台宝卷」は、特に「紹興」ということに特別な意味を付与している訳ではないかもしれない。

しかしながら、1の「白侍郎宝卷」では羅漢の提那が紹興府李長者に「投胎」するという設定であり、また澤田博士が考証するように烏窠道林禅師が杭州秦望山の松の上に棲んだことが『景德伝燈録』巻4に見えることから、仏教の盛んなこの地名をあえて出したのに違いない。3の「歡喜宝卷」においても、陳善という漁夫が紹興で修行し、かつ紹興顕聖寺の明末に実在した人物、湛然和尚に師事したことになっており、ここでも紹興は仏教との関わりを示唆していると考えられる。

楊媽媽は最後には、「楊天標夫婦、見兒婿們修行、也覺回心轉意、同修佛道、壽數已盡、無疾歸天。」という結末を迎える。この「双英」が紹興で成立したのだとすれば、紹興の婦人たちに仏教の功德を説く際、楊媽媽の物語は共感を以て受け止められたことであろう。

3) 鳳陽婆

鳳陽婆とは、鳳陽花鼓という楽器を用いる女性の遊芸人を指す。鳳陽花鼓は同時に芸能のジャンル名でもあり、安徽鳳陽に由来するものと言われ、女性が花鼓、男性が小鏜鑼をもち、民間小曲を歌いながら物乞いをする。

蔡湘江氏の研究⁷に拠れば、「《打花鼓》は泉州鯉城、晉江、南安、德化などの地に流行し、宋代に北方の移民が泉州にもたらしたものと伝えられる。《打花鼓》と北方の《鳳陽花鼓》は演技についてはだいたい同じものである。」とある。これによれば、北方の移民によって泉州にもたらされたものが鳳陽花鼓であるとは書いていないが、演技が同じものであるので、似通った芸能と見てよいであろう。

「双英」では、女物の服を着た王応文は、楊天標から「鳳陽婆」扱いされ、虎の出る山に棄てられる。外地からやって来た遊芸人がまともな扱いを受けていなかったことが推し量られるのと同時に、泉州と安徽など北方との芸能を通じた交流を伺い知ることができ、興味深い。

6. 結びにかえて

以上、「双英」をめぐる諸問題について論じてきたが、「双英」を神々の物語として見た場合、文曲星たちが地上に流されて試練を味わい、最後には天に帰るという構造を持って

⁷ 蔡湘江著『泉州民間舞蹈』(福建人民出版社, 2006)「打花鼓」p159 参照。

おり、神話や民間伝説、そして宝巻などでもお馴染みのパターンと言えよう⁸。最後に太白金星が登場するのも、「双英」「双状元」や多くの宝巻に共通するお約束である。

また、「双英」から人間、特に若い男女の愛情をめぐる物語を読み取ることも可能である。明清の伝奇の中で「風情類」と分類される作品群について、田仲一成氏は「男女の愛情を主題とした戯曲。このテーマは普遍的なもので、特に平素、忍従を強いられている宗族社会の女性観客の間において、もっとも人気の高いものであった。」と男女の愛を主題とする作品群が女性たちの支持を得ていたことを指摘するが⁹、「双英」もこの「風情類」の性格をそなえている。

「双英」がいったいどのように作られたのかについてはまだ明らかにし得ていないが、主人公の死（自死、仮死）と蘇生、主人公が状元になる結末、仏道修行に励んで帰天する話、一夫多婦の団円などの話柄は多くの宝巻に見られ、これらの基本的な要素をどこから借用してきたのであろう。主人公が奴僕に身をやつし、ヒロインと出会う話も「沈香扇宝巻」や「双珠鳳宝巻」などに見えることから、やはり他の作品から趣向を借りてきた可能性がある。

しかし、仏法を説く宝巻でありながら、潮神信仰を背景とする物語の展開は異彩を放っており、もともと（どこの地域のという問題はさておいて）潮神廟という民間信仰の磁力が作用する場で生み出されたものだったかもしれない。（完）

⁸ 靖江宝巻では、神仙の物語は、神仙下凡 - 修行 - 証道 - 顕聖という流れを辿り、神仙と彼らの法術はその中で情節を動かす重要な要素であるという指摘がある。注2 前掲書 pp160-183 参照。

⁹ 田仲一成著『明清の戯曲』第6章「社祭演劇における宗族の戯曲選好」第5節「風情類」 pp223-224 参照。

雙英卷 上本

上田 望 施 凱盛 林 志英 校訂

雙英寶卷初展開 恭請神聖降壇前

善男信女虔誠聽 增福延壽永無災

恭聞雙英寶卷名曰梅花戒，出在大唐永徽年間，提表浙江省，寧波府，定海縣，卻說一人。**生**¹ 小生姓王名應文，在年二八，父親廷貴，在日官居首相，母親張氏，誥受皇封，不幸雙親去世，單生²小生一人，幸喜身入黌門³，這也不在話下，且喜家財豪實、田園廣闊，小生立志攻書，不能上達，心中煩悶，想今日那是八月十八大潮日期，不免去到江邊看潮一回，待我與王德說明而去，王德哪⁴裏？**外** 來了。忽聽相公叫，上前問分曉，相公在上，老奴叩頭。**生** 起來。**外** 叫老奴出來有何吩咐？**生** 叫你出來非爲別事，今日大潮日期，我意欲要到江邊看潮一回。**外** 嚇，相公，本該不去才好，想相公未曾見過潮水，況且終⁵日愁悶書房，就去看看倒⁶也使得，須要早去早回，以

¹角色符號，均係原有，非校注者所加。

²“生”字，似有誤。石印本『繪圖梅花戒寶卷』（古屋明弘、氷上正、王福堂共編『梅花戒寶卷』、中國古籍文化研究所單刊 3，中國古籍文化研究所，2004，以下簡稱石印本）（第 1 頁）云：“單留小生一人”。

³黌門，學校也。原寫作“洪門”，同音而誤。石印本作“身入黌門”，今正。

⁴“哪”，原寫作“那”，今正，下同。

⁵“終”，原寫作“總”。石印本作“終”，今正。

⁶“倒”，原寫作“到”，以意正。

免老奴在家懸念。 生 這個自然，王興隨我往江邊一走。 淨⁷ 嘔，曉得者。

生 應文移步出門庭 興 王興書童隨後跟

生 路上行人多熱鬧 人挨人擠鬧盈盈

老人扶杖緩緩走 年少力壯向前行

不覺來到大江邊 興 書童啓口把話論

喂，相公，江邊到者，看潮時辰還勿到，偌⁸到潮神殿⁹去遊玩遊玩，

才話¹⁰潮頭起來者，我會來嘔¹¹偌個。 生 如此你在此等候，我到廟內去遊玩一番便了。 興 嘔。

生 應文進了潮神殿 只聽男女許多言

觀看神前多供奉 人人許願與求籤¹²

潮神菩薩何靈感¹³ 盡是泥塑木雕全¹⁴

內中必定有緣故¹⁵ 請出廟祝問原因

廟祝哪裏？ 什 來者來者，相公叫貧道出來有何吩咐？ 生 我來問你，潮殿大王有何靈驗，百姓們因何如此誠敬？ 什 啓稟相公，潮神大王十分靈驗，求男得男，求女得女，故而善男信女都來叩求許願¹⁶。

⁷ “淨”，原寫作“𦵏”，以意正。下同。淨，按下文疑當作“興”。

⁸ 偌，第二人稱，指你。紹興方言。或作諾。紹興越城地區第二人稱一百多年不斷變化。請參看吳子慧《吳越文化視野中的紹興方言研究》（浙江大學出版社，2007年，以下簡稱《紹興方言研究》）第70頁。

⁹ “殿”，原寫作“戾”，以意正。下同。

¹⁰ 才話，如果。吳方言。

¹¹ 嘔，動詞。叫，喊。

¹² “籤”，原寫作“千”，今正。

¹³ “感”，原寫作“忞”，今正。

¹⁴ “全”字，疑有誤。石印本作“裝”（第1頁）。

¹⁵ “故”，原寫作“古忞”，以意正。下同。

¹⁶ “願”，原寫作“戾”，今正。下同。

生 有這等事來？嗟，可惱可惱，想神明也貪人願，非是真神也。

應文聽說氣咆哮 兩太陽中火直冒

官府貪贓¹⁷該有罪 何況神聖掌天曹

小生有日功名就 就將此事奏當朝

管叫泥身來拆毀 又將大殿火來燒

正在廟中重重¹⁸怒 興 王興書童叫看潮

喂，相公，潮來者快，看潮起¹⁹者。生 邪神嚇邪神，待我看潮以後，

再來訓誨與你。興 噲，相公，伊是²⁰泥塑木雕個，罵他也是無用個。

生 吶，狗才多講，我們看潮去吧。興 嘔，曉得。

生 主僕雙雙出廟門 觀看潮頭密²¹層層

不表應文看潮事 提表神聖顯威靈

手執生死簿，坐起攝魂臺，兼理民間事，執掌我為先，吾乃潮神是也。

奉玉帝勅旨，執掌三界，上管風雲雷雨，中察水府神祇，下詢民間禍

福，夫妻姻緣，這也不在話下，今有王應文在吾殿下，褻瀆吾神，實

在²²可惱²³，若不顯聖，他哪曉得吾神靈驗，嚇，想王應文乃是文曲星

君下凡，他的姻緣落在福建泉州府，不免喚出夜叉，夜叉何在？鬼

在。神 今有王應²⁴文乃是文曲星下凡，你將他隨潮帶到福建泉州府

¹⁷ “贓”字，原寫作“桩”。石印本作“贓”（第2頁），今正。

¹⁸ “重重”，疑有誤。石印本作“冲冲”（第2頁）。

¹⁹ “起”字，疑當作“去”，按吳方言中“去”與“起”同音，不分處頗多。

²⁰ “是”，原寫作“實”，今正。石印本作“他乃是個”（第2頁）。因“實”“是”音近而誤。

²¹ “密”，原寫作“蜜”，今正。

²² “在”，原寫作“才”。吳方言“才”與“在”同音，今正。

²³ “惱”，原寫作“腦”，今正。下同。

²⁴ “應”，原寫作“英”，同音而誤，今正。下同。

晉江縣地界，身落沙灘，不准傷他性命，速來復旨。 鬼 領²⁵法旨。

慢²⁶表潮神安²⁷排定 生 再表書生王應文

站立江邊來觀看 遠望潮頭白如銀²⁸

鬼 夜又一陣狂風起 將他吹落江中心

生 應文身在波浪內 隨波逐流不知情

興 王興唬得魂飛散 救命救命叫連聲

嚇勿²⁹好者，嚇勿好者，岸上衆位叔叔伯伯噲，我裏相公翻³⁰落海裏者，被潮水尅³¹得起者，求求衆位大叔救救，若還救起重重有賞。 眾 吓，介³²個大江之中，海浪滔滔，如何救得，救勿起個，救勿起個。 興 嚇，相公噯，嚇，相公噯，嚇，且住，想我在此啼也是枉然，還是報與王伯知道便了。

王興啼哭轉³³回程³⁴ 報與王伯伯得知情

一徑³⁵來到府門者 王伯伯王伯伯叫連聲

王伯伯，王伯伯，勿好者，勿好者。 外 爲何？ 興 相公看潮被潮水尅得起者。 外 你待怎講。 興 相公被潮水尅得起者。 外 當真³⁶？ 興 當真。 外 果然？ 興 果然。 外 嚇啲！ 興 王伯伯蘇醒蘇醒。

²⁵ “領”，原寫作“令”。石印本作“領法旨”（第2頁），今正。

²⁶ “慢”，原寫作“曼”。石印本作“慢表潮神安排定”（第2頁），今正。下同。

²⁷ “安”，原寫作“按”。石印本作“慢表潮神安排定”（第2頁），今正。下同。

²⁸ “銀”，原寫作“艮”。石印本作“白如銀”（第2頁），今正。下同。

²⁹ 勿，不。紹興方言。

³⁰ “翻”，原寫作“番”，今正。

³¹ 尅，紹興的俗字。人、物浮在水上，或人、物被大水沖走。（《紹興方言研究》第272頁）。

³² 介，指代詞，這麼。紹興方言。

³³ “占”，義不通。石印本作“轉”（第2頁），今正。紹興方言中“占”與“轉”音同，疑爲方便而用“占”字。下同。

³⁴ “程”，原寫作“呈”，今正。下同。

³⁵ “徑”，原寫作“經”。石印本作“一徑來到家門首”（第2頁），今正。

³⁶ “當真”，原寫作“當正”。據石印本正。下同。

外 嚇，

不好了：

聽得此言魂膽驚 相公淹死好傷心

曾記相爺托咐我 叫我撫養小主人

不該今日看潮去 皆因老奴少主心

誰知看潮起禍端 主僕頃刻兩離分

想你王門香火何人接 老奴枉費³⁷一片心

思想情由心悲泣 啼啼哭哭叫主人

且住，想我相公身傷³⁸潮中，待我去到江邊，收其屍首歸家，王興隨我來。 興 嘔。

帶了王興往前行 一路啼哭到江邊

觀看屍首無蹤跡 心中好似滾油煎

相公呀你好好在家攻書讀 乃曉看潮傷黃泉

哭罷無奈回身轉 設立魂牌在廳前

早供茶飯夜供水 孤單寂寞淚連連

不表王德老頭事 鬼 再表夜叉來復旨

進殿報與大王曉 神 潮神大王笑開顏

不表浙江潮神事 二 另表福建捕魚人

一生無活計 三 柯³⁹魚當生意 二 但願生意好 三 勿會餓肚皮 二 今

朝潮頭退 三 大家柯魚起 二 大魚柯一條 三 大家笑喜喜

³⁷ “費”，原寫作“弗”，今正。下同。

³⁸ “傷”字，俟校。疑當作“喪”，因音同而誤。

³⁹ “柯”，抓。（《紹興方言研究》第115頁）。石印本云“捕魚做生意”（第3頁）。

二 我叫王阿二。三 我叫王阿三。喂，阿哥，今朝是八月十八大潮⁴⁰汛，潮頭退者，伢⁴¹柯潮頭魚起者。二 好阿弟讓來扎網，儂起搖船，阿弟對面匯水塘裏有個大漩渦⁴²帶⁴³，一定有大魚冬⁴⁴，讓我來扎一網，來帶⁴⁵者着力抽起來，喂，阿弟勿對，勿是魚，是個人。三 阿哥甩落起、甩落起。二 阿弟，有句話：“人命關天。”才話好⁴⁶救，救伊活來，能造福萬代，我看伊個人，手裏個脈還來帶跳來，伢不伊沙灘裏起拖起吭⁴⁷。三 嘔，我劃過起。二 伢把伊拖起沙灘，一定爲⁴⁸活個，拖來拖起帶者，伢還是再柯魚起。

不表兄弟兩人柯魚起 生 再表應文來蘇醒

睜開雙目來觀看 猶如夢中一般形

嚇，且住，想我明明在寧波看潮，因何來到沙灘之上？身上盡是咸水泥沙，看那旁有位老人家在此，待我前去問來，前面老丈請了。淨 請了。生 我要借問一聲，此地什麼地方？淨 此地是福建泉州府晉江縣地界，往這裡進去，就是西門了。生 承蒙老丈指教。淨 好說。生 嚇，且住，我明明記得在寧波看潮，因何來到福建地界，這又⁴⁹奇了。

⁴⁰ “潮”，原寫作“朝”，今正。

⁴¹ 伢，紹興方言。複數第一人稱，己方。即我們。參看楊葢、楊乃浚編著《紹興方言》（國際文化出版公司，2000年，以下簡稱《紹興方言》）第203頁。

⁴² “漩渦，原寫作“旋窩”，今正。

⁴³ 帶，助詞。紹興方言。

⁴⁴ 冬，猶寫咚，用於句末作語氣助詞。有時與“哉”連用。（《紹興方言》第21頁）

⁴⁵ 來帶，這裡。紹興方言。（《紹興方言》第21頁）

⁴⁶ 好，可以，能。吳方言。參看吳連生等編著《吳方言詞典》（漢語大詞典出版社，1995年）第191頁。

⁴⁷ 吭，待考。根據整句話的意思，應該爲句末語氣詞，發音爲“杭”，表示徵求對方意見。

⁴⁸ “爲”字，似當作“會”，因音同而誤。待校。

⁴⁹ “又”，原寫作“有”，今正。

我在寧波把潮看 因何來到福建城

莫非我把潮神罵 難道神聖顯威靈

將我滾到泉州地 神聖護佑命留存

雙膝跪在塵埃地 深深四拜告神明

保佑弟子回家轉 重修廟宇佛裝金

且住，想我身上盡是咸水泥沙，看前面有條清水小河，看四下無人，待我將衣衫脫下，趁着紅日當空，將衣衫曬在橋上，等到曬燥，穿着再走，待我來脫下衣衫便了。

應文即便脫衣衿 曬在橋邊去洗身

不表應文來洗身 白 卷中另有不良人

我做偷兒本事高，剪綵挖包勿用刀，偷來銀⁵⁰子撒在腰，吃酒吃肉勿匯鈔、勿匯鈔，自家非別，白望光便是，想我爹娘遺落帶家當嘅⁵¹有勿少，被我今朝賭，明朝嫖，弄得滑禿精光⁵²，昨日子又輸得一票，我終⁵³究起⁵⁴弄些生意來個，好做反賭本錢，咦，望帶過起，萬年橋高頭⁵⁵，有簇嶄全新⁵⁶衣裳曬帶，一定是老天爺菩薩道我銀子輸光者，來不⁵⁷我做賭本個，仰⁵⁸我走帶過起，拿得伊來是者。王 嚇，妙呀，好清水，好快活。白 噫，葛息辰光⁵⁹，偌倒⁶⁰快活。停息要不⁶¹偌勿

⁵⁰ “銀”，原寫作“艮”，今正。

⁵¹ “嘅”，待考。疑當寫作“也”。吳方言中，表示“也”字意思的有兩種發音，一與“野”同，另一則與“鞋”字音同，疑因此用此俗字，以示發音。

⁵² 滑禿精光，石印本作“滑撻精光”。石印本注云(第4頁)：“一點兒也不剩下”。

⁵³ “終”，原寫作“總”，今正。下同。

⁵⁴ 起，去。

⁵⁵ 高頭，上面。

⁵⁶ 簇嶄全新，俗語。非常新。(《吳方言詞典》第586頁)。

⁵⁷ 不，與“撥”同，介詞，給，吳方言。

⁵⁸ 仰，石印本注云：“仰，讓”。

⁵⁹ “葛息辰光”，石印本作“介个時光”，石印本注云(第4頁)：“這樣的時候”。

快活者。生 岸上你位仁兄，這套衣服是我的，你勿要動它，曬燥我要穿的。白 佢好穿，我也好穿個。生 你莫非是賊？白 賊倒勿是⁶²賊，不過是個三隻手⁶³，我戲賭輸極者，問佢借借，做做賭本，贏來還佢是者。生 嚇不好了。

白 佢落⁶⁴勿好，我落曼⁶⁵好，我挖⁶⁶得起末是者⁶⁷？

望光挖衣喜歡欣 走到賭場來反本

不表望光賭場事 生 再表應文好傷情

可恨賊子傷良心 害得我出身露体難見人

只見前面有河埠 速速前去求救星

不表應文河埠浸 天 另表天標當場人

門前高掛三尺布，飄來飄起招顧主，舊年做得十缸酒⁶⁸，倒有九缸酸如醋，自家非別，楊天標便是。一向住在福建泉州府晉江縣，討之⁶⁹一個家主婆，乃是浙江紹興府山陰縣人氏，夫妻倆⁷⁰介頭⁷¹指望生個白白胖胖倪子，大起來好替我做做廚房、跑跑店堂，乃⁷²曉得介主婆肚皮勿漲氣⁷³，生得個囡片片⁷⁴，我想太人家生個囡倒勿要緊，咿⁷⁵總經

⁶⁰ “倒”，原寫作“到”，今正。

⁶¹ 不，與“撥”同。

⁶² “是”，原寫作“實”，今正。

⁶³ 三隻手。猶云充手。指扒手。紹興方言。

⁶⁴ 落，語氣助詞，用來舒緩語氣，引出下文。此句意為：你呢，不好，我呢，蠻好的。

⁶⁵ “曼”應作“滿”，或作“蠻”。待考。

⁶⁶ 挖，拿。

⁶⁷ 是者，與“是哉”同，句末語氣詞。

⁶⁸ “酒”，原寫作“汨”，今正。

⁶⁹ 之，石印本注云(第5頁)：“之，了”。

⁷⁰ “倆”，原寫作“兩”，今正。

⁷¹ 倆(兩)介頭，兩個，尤指關係親密者。

⁷² 乃，哪兒。紹興方言。

⁷³ 漲氣，爭氣。音同而用別字。

⁷⁴ 囡片片，對女孩子的蔑稱。

濟人我生個囡，直腳完者，所以我不伢阿囡取名叫阿完，我在駱相府隔壁開爿⁷⁶飯堂，生意倒也勿息⁷⁷，相府有七位少爺在京裏做官，家裏有七位少夫人，還有一位小姐，常來遊玩花園，我個家主婆嘴口生得活動，問長問短，一走二走相府挖來走熟者，葛位小姐見𠵼阿囡有幾分齊正，留在相府陪伴陪伴，問𠵼阿囡有多少年紀，叫啥⁷⁸個名字？𠵼阿囡話，叫阿完，今年有十六歲者，小姐話者，大姑娘叫阿完，難聽個，小姐話，完字下底加個英字，嘔起就好聽者，小姐話我個名字叫姣英，噠兩個都是⁷⁹英，變成雙英，不如結拜姐妹，同小姐同吃同住，同學針線，外加同學文章，我裏阿囡前日子居來者，駱小姐送伊滿房擺設，樣樣齊全，真真有緣，看得𠵼阿囡也斯文一脈者，人品生得越加漂亮者，究得人家還勿許，媒人先生門檻都要踏斷者。正是乃高來勿配，低來勿對，我話阿囡噲要不偌住大門者⁸⁰，閒話少說，天已經𣎵⁸¹者，讓我要做𣎵時面者⁸²，嘔伢家主婆淘米洗菜⁸³起者，阿完拉個娘噲，天已經𣎵者，偌好淘米洗菜起者。丑 偌個老冤家，我剛剛搖得盆水來帶洗腳，嘔我乃葛立得起，還是嘔𠵼阿囡起，阿囡噲。

⁷⁵ “𠵼”，俗字。我，我們，我的，我這個。應是與“外”讀音相近之字，此處應為紹興方言中第一人稱複數或第一人稱作定語時的發音。紹興方言的“捱”（第一人稱複數代詞），發音與“外”同。

⁷⁶ 紹興方言的量詞。工廠、商店一家叫一爿。（《紹興方言》第308頁）

⁷⁷ 石印本注云（第5頁）：“勿息，不錯”。

⁷⁸ “啥”，原寫作“舍”，今正。下同。

⁷⁹ “是”，原寫作“實”，今正。

⁸⁰ 我話，意為“我說”，不，與“撥”同，整句可理解為：阿囡啊，要給你住大門了。大門，在紹興方言中的含義不明。

⁸¹ 𣎵，石印本注云（第5頁）：“𣎵，晏的誤寫”。

⁸² 此句疑有誤。時面應為“市面”，此處乃指“晏市面”，晚上的生意。石印本作“要做𣎵市哉”。

⁸³ “菜”，原寫作“𦵏”，今正。下同。

完 噯則啥⁸⁴? 丑 阿囡噲做娘個剛剛舀得盆水來帶⁸⁵洗腳，乃爹嘔我要淘米洗菜起者，我一時立勿起，偌代娘個去洗洗來。完 女兒曉得，嚇苦嚇。丑 偌應來帶應眼裏水⁸⁶脫脫，葛來帶⁸⁷流出來者。完 咳，我好命苦嚇：

完英無奈便抽身 手執筐籃走出門

將身來到河埠口 只見男兒水中浸

心中發慌紅了臉 慌忙回轉⁸⁸店堂門

關了房門呆了立 丑 走出媽媽問原因

阿囡偌淘米洗菜奈葛咚者 完 母親外面有這個。丑 這個乃個，偌河沿頭淘米洗菜到勿起，屁股朝得裏，臉孔紅一陣白一陣，實介立帶咚⁸⁹，難道米會得白個？菜會得清爽個？完 母親外面有。丑 有啥個東西咚，做娘個來看。王 苦嚇。丑 呸，有偌個小賊骨頭帶來，白條條葛別我個河埠頭浸帶咚來咚則啥⁹⁰？難怪𠵽阿囡要逃進來者，我老太婆都難看殺者。生 嚇，媽媽，小生一言難盡。丑 呵偌來咚摸面眼鏡。生 嚇，我一言難盡。丑⁹¹ 介偌道話話看。生 嚇，媽媽嚇：媽媽在上聽原因 小生一一告知聞

我住浙江寧波府 定海縣內王家門

爹爹名叫王廷貴 官居極品在朝廷

⁸⁴則啥，做啥。

⁸⁵來帶，副詞，正在。

⁸⁶眼裏水，眼淚。

⁸⁷來帶，正在。

⁸⁸“轉”，原寫作“占”，以意正。

⁸⁹此句石印本作“寔個立帶”。注云(第5頁)：“寔個，這樣。立帶，站著”

⁹⁰此句義未詳。待考。

⁹¹原缺“丑”字。今補。

爹娘不生多男子 單生小生一個人

今年年方十六春 三字名叫王應文

丑 媽媽啓口來動問 你光着身体爲何因

小書生既然你是寧波定海縣人氏，又是官家之子，怎麼會來到福建呢？ 生 嚇，媽媽有所未知，只因我看潮失水，洗盡衣服，曬在橋上，被賊子偷去了，還望媽媽發發慈悲，相救于我，日後圖報大恩。 丑 介末偌來帶，我起挖得衣裳來。 生 多謝媽媽。 丑 嚇啲，想𠵼老老野貓過世，究得一張皮個，有者有者，我有件古老十八代個海青咚，褲末究得我條布裙，仰伊繫繫，我還有一雙鬧堂鞋，嘔伊拖拖，咳者，喂，阿囡。 完 母親。 丑 河渠頭是⁹²個宰相公子，做娘個要起救得起來者，究得救帶進來，嘔伊𠵼裏頭坐坐呢。 完 母親房中。 丑 我個房裏，乃爹穿進穿出咚走，還是到偌個房裏起坐坐。 完 女兒房中如何使得？ 丑 阿囡呀，做好事怕伊啥，仰我起救得進來是者。

媽媽拿衣到河沿 擡頭見了後生面

即忙啓口把後生叫啫快快穿衣進內邊

喂，小後生，啫可動蹲冬冬，立起來實難看各，啫葛條布裙繫帶冬，海青披帶冬，鞋末拖帶冬。 生 多謝媽媽，請媽媽站過一邊，小生上岸來了。

應文上岸便穿衣 一條布裙當褲繫

同了媽媽來行走 進門即便忙施禮

媽媽在上小生奉揖。 丑 相公勿敢勿敢，啫河裏浸得冷殺咚者，快快

⁹² “是”，原寫作“實”，今正。

到叻阿囡房裏坐坐。停息⁹³我搬酒飯來，仰啫吃得熱落落⁹⁴好走。 生
多謝媽媽了。

丑 媽媽說罷到店堂 生 王應文移步入內房

只見擺設多精雅 四面團團掛斗方
兩邊四把象牙椅 楠木茶几分兩旁
上方一張春臺桌 四大美女掛中堂
西施溪水把紗浣⁹⁵ 貂蟬拜月咒奸黨
心悶醉酒楊貴妃 昭君出塞⁹⁶號淒惶⁹⁷
一副⁹⁸對聯分左右 古人提詩有名堂
左寫偶落花千點 右寫飛舞蝶成雙
楠木妝⁹⁹台窗前擺 紫檀¹⁰⁰鏡架水磨光
桂花床岩¹⁰¹秋羅帳 白銅帳鉤¹⁰²掛香囊
銀紅夾被鑲金緞¹⁰³ 鴛鴦花枕遠芬芳
應文看罷多歡悅 滿房擺設不尋常
嚇妙嚇，我道平常之家，原來擺設如此幽雅，且住，有現成床帳在此，
想我身子困倦，不免待我下帳安睡片刻便了。

應文安睡養精神 心中暗暗喜十分

⁹³ “停”，原寫作“仃”，今正。石印本注云(第6頁)：“停息，過一會。”。

⁹⁴ “熱落落”，亦作“熱絡絡”。

⁹⁵ “浣”，原寫作“統”，今正。

⁹⁶ “塞”，原寫作“寨”，今正。

⁹⁷ “惶”，原寫作“惶”，今正。

⁹⁸ “副”，原寫作“付”，今正。

⁹⁹ “妝”，原寫作“椿”，今正。

¹⁰⁰ “檀”，原寫作“桹”，今正。

¹⁰¹ “岩”，義不通。或改作“沿”。待校。石印本(第7頁)作“葵花床內”。

¹⁰² “鉤”，原寫作“勾”，今正。

¹⁰³ “緞”，原寫作“段”，今正。

慢¹⁰⁴表書生安睡事 丑 再表楊媽叫完英

阿囡噲，喏四盤一湯、酒一壺、飯菜一桶，偌搬得進起，仰伊吃得好走。完 女兒不去。丑 做好事怕伊啥？標 阿完賴娘噲，快快來收銅錢者。丑 嘔，阿囡喏快快搬得進去，做娘個要到店堂裏收銅錢起者。

媽媽說罷走匆匆 完 完英送飯滿臉紅

無奈搬進房中去 嚇不見書生王相公

只見羅帳來放下 想必安睡奴床中

奴也不顧羞和恥 勉¹⁰⁵強起口叫相公

相公起來請用酒飯了。生 啊啊，我道是誰，原來是一位大姐，嚇，大姐，小生多多失禮了。完 好說好說。

生 應文起身坐床沿 只見大姐美嬌¹⁰⁶顏

今日小生多失禮 身子困倦在床眠

多虧媽媽來相救 又勞大姐費心田

嚇，大姐小生奉揖。完 奴家有禮奉還，請問相公，府居何處？尊姓大名？乞道其詳。生 大姐聽道：

家住在 浙江省 寧波府內

我爹爹 王廷貴 身居極品

難生¹⁰⁷我 十六春 取名應文

只因爲 去看潮 寧波失水

蒙蒼天 飄到此 不傷殘身

¹⁰⁴ “慢”，原寫作“曼”，今正。

¹⁰⁵ “勉”，原寫作“免”，今正。下同。

¹⁰⁶ “嬌”，原寫作“喬”，今正。

¹⁰⁷ 難生，石印本注(第7頁)云：“遇難的人，應文自稱。”。

虧大姐 送酒飯 難報你恩

嚇大姐，難生多虧媽媽相救，承蒙大姐送飯，此恩日後圖報，請問大姐芳名，方才救我的乃位恩媽媽是你大姐何人？完 相公聽道：

完英姑娘說原因 就把相公叫一聲

相公嚇爹爹名叫楊天標 開爿飯店過時光

救你之人非別個 就是奴的老娘親

若要問我奴的名 三字名叫楊完英

生 應文聽說暗思忖 好位大姐伶俐人

我把大姐看靈清 容貌堂堂無批評

頭上青絲烏雲照 蟠龍結上放光明

眉似春天柳初放 一雙秋波水淋淋

小腳金蓮長三寸 猶如仙女下凡塵

應文正在呆呆看 完英偷偷看書生

我把書生看端正 一表人才美少年

相貌堂堂多英俊 眉清目秀一書生

天庭飽滿世無雙 好似潘安轉還魂

羞羞答答相公叫 快請相公酒飯吞

生 多謝大姐 嚇，大姐 小生有言不敢啓齒。完 相公但說何妨。生

嚇，大姐，小生多蒙你們母女相救，感恩非淺，意欲與你結爲百年偕伴，望大姐應允。完 嚇，相公嚇：

你是官家豪門後 奴是貧我女釵裙

相公前程多錦繡 奴家不敢許終身

生 大姐嚇小生不是負心漢 大姐只管放寬心

大姐若是不信，小生就可對天盟誓也。

雙膝跪在地埃塵 祝告乃過往神聖在上聽

我與完英定終身 海枯石爛不變心

小生若還負完英 五雷擊頂不超生

完 相公言重了：

相公嚇，今日與你終身訂 奴家無物來相贈

奴有一隻梅花戒 送你王生作為聘

生 應¹⁰⁸文接戒心歡喜 多謝大姐許終身

小生有日功名就 鳳¹⁰⁹冠霞帔報你恩

不表私訂終身事 標 提表天標叫完英

阿完 完 爹爹，啥事体？

標 我有筆帳，偌來撥¹¹⁰我寫寫咯帳簿裏。 完 女兒等息¹¹¹來寫。 標

咳，還是¹¹²快些來寫，做爹個記心曼曼，息個等息¹¹³要忘記個。偌筆

墨紙硯挖得來，快些來寫。 完 筆墨紙硯在女兒房中，待女兒到房中

去拿來。標 仰我起挖起，偌腳迷迷小¹¹⁴葛，跌得跤要討債者¹¹⁵。完 爹

爹你年紀老了，還是女兒去拿好。標 仰我起。完 女兒去。標 偌話

偌起，我話我起，偌個房裏有啥個古董寶貝？ 哼，勿許做爹個走進

¹⁰⁸ “應”，原寫作“英”，今正。

¹⁰⁹ “鳳”，原寫作“風”，今正。下同。

¹¹⁰ “撥”，介詞。《紹興方言》（第23頁）云：“‘撥’有時可作動詞用，相當於‘給’”。

¹¹¹ 等息，與“停息”同，等一會，過一會兒。

¹¹² “是”，原寫作“實”，今正。

¹¹³ 等息，待查。

¹¹⁴ 迷迷小，形容很小，極小。

¹¹⁵ 討債，麻煩；糟糕。參看李榮主編《寧波方言詞典》（江蘇教育出版社，1997年）第78頁。

此句意為：要是跌了一腳，就麻煩了。

起，我今朝偏偏要走帶進起帶來，喂，青天大白日，帳子爲啥勿上起，仰我來上起，喂，棉被都勿折好¹¹⁶，還動動來帶動，我揭帶開來看看帶來，嚇，我道啥西，乃曉得還是個鳳陽婆¹¹⁷，介個小花娘帶來，我道葛兩日，米介勿禁吃者¹¹⁸，柴介勿禁燒者，都不葛個鳳陽婆吃光個，我今朝勿來打喏，也勿來罵喏，東門外青山高頭老虎來咚作亂，仰我來背得伊起，飼老虎起末罷者。

楊天標拉住鳳陽婆 上前一把握緊拖

將伊背出房門外 高聲大罵老乞婆

房裏關得鳳陽婆 偏偏做弄我老人家

急急忙忙背了走 丑 楊媽一見淚如梭

完 完英此刻難分捨 有口難言沒奈何

噯王生王生 丑 嚇，阿囡，介好個宰相公子，不葛老冤家當鳳陽婆，背到青山高頭飼老虎起者，做娘個正當肉痛殺者，倘若傷了性命，我以¹¹⁹來帶做惡事者。完 嚇，母親，嚇王生噯噯。

完英姑娘淚紛紛 有口難言說不清

王生若有長和短 奴家終身靠何人

我與王生終身訂 爹娘乃裏會知情

但願蒼天來保佑 保佑他無災無難脫逃生

不表完英心悲泣 標 再表天標上山林

喂，到者，到者，撥若來帶飼老虎，我要落山起者。

¹¹⁶勿折好，方言中稱壘被子爲“折棉被”，棉被都勿折好，謂“被子都沒壘好”。

¹¹⁷鳳陽婆，石印本注(第8頁)云：“鳳陽花鼓的女藝人。”。

¹¹⁸“米介勿禁吃者”，石印本作“米勿徑吃哉。”。注(第8頁)云：“勿徑，經不起。”。

¹¹⁹以，又。方言中，音“以”。

楊天標怒氣冲冲下山轉家門 要與娘因道理評

宣到此處停頭回 相府賣身下回云

生 離別家鄉有數旬 未知何日返家庭

小生王應文，寧波定海縣人氏，自從乃日看潮失水，漂到此地，誰知衣衫鞋襪被賊人竊去，多虧媽媽相救，與我身上穿了女人衣服，藏¹²⁰在香閨，與完英大姐私訂終身，楊天標將我錯認鳳陽婆，背到此山，喜得機關未露，不然性命難保，看離城不遠，待我下山去吧。嚇，且住，想我身無分文，如何是好，只得去到街坊沿街求乞，待到有了銀子，就可回家，我來此已是十字街口，前去求乞便了。

王應文移步向前行 腹中飢餓好難禁

行走來到十字街口 只得跪地求善人

哀求開店開廠老闆們 發財銅錢丟幾文

保佑出門順利保平安 順風駛舵保太平

保佑四面貴人相照應 八方財寶進門庭

保佑生意興隆多茂盛 一年四季賺黃金

哀求吃素念佛太太們 慈悲銅錢丟幾文

保佑福也增來壽也增 壽比南山老壽星

保佑眼目清亮腳手健 兒孫滿堂鬧盈盈

哀求賢良好心大娘們 賢德銅錢丟幾文

救救我王應文落難人 保佑夫妻和睦情義深

¹²⁰ “藏”，原寫作“芒”，今正。下同。

保佑早生貴¹²¹子跳龍門 白頭到老福壽增
哀求漂漂亮亮姑娘們 加班銅錢丟幾文
保佑有福有壽多福分 配個老闆做夫人
哀求年青力壯叔伯們 辛苦銅錢丟幾文
救救我個落難人 保佑一年四季賺黃金
哀求讀書趕考官官們 聰明智慧銅錢丟幾文
保佑連科高升步步進 大學考進穩篤¹²²定
保佑做中央幹部¹²³接班人 轎車進出耀¹²⁴門庭
保佑增福延壽保長生 一家團圓¹²⁵笑盈盈
哀求種田下地叔伯們 辛苦銅錢丟幾文
保佑身體健康福壽增 田稻¹²⁶年年好收成
今日我討得銅錢有千文 謝謝各位善心人
可憐我半男半女好羞人 叫我何處去安身
不表應文情由事 相 卷中另表一公卿

不如意事常八九，可與人言無二三，老夫駱賓，官拜首相，執掌朝綱，
夫人李氏，生下七子一女，孩兒具在朝中爲官，七位媳婦在家，我女
姣英在年二八，當初萬歲爲媒，許配潼關沈榮之子沈標爲室，如今聞
得沈標醜陋不堪，而且倚勢橫行，夫人聞知憂鬱得病身亡，我女終¹²⁷
日啼哭不止，一爲娘親亡故，二爲錯配婚姻，每欲自盡，多虧七位賢

¹²¹ “貴”，原寫作“桂”，以意正。

¹²² “篤”，原寫作“督”，以意正。

¹²³ “部”，原寫作“𠂔”，今正。

¹²⁴ “耀”，原寫作“躍”，以意正。

¹²⁵ “圓”，原寫作“園”，今正。下同。

¹²⁶ “稻”，原寫作“秣”。《雙狀元寶卷》云：“田稻年年好收成，今從之。”

¹²⁷ “終”，原寫作“總督”，今正。下同。

媳解勸，爲此者老夫無心伴駕，告老還鄉，思想起來，好不憂慮人也。

相爺悶坐在書廳 只爲女兒錯配親

害得夫人身亡故 害得女兒哭悲疼

不該將他來錯配 如今懊悔也無門

想沈標雖然他父是千歲 惡勢橫行不成文

本該將他婚來退 違逆聖旨罪非輕

幸虧賢者多淑德 終日解勸女兒身

進退兩難真無奈 因此告假轉家門

心中思想多煩悶 有了忽生巧計把話論

且住，我女兒終日煩悶不樂，心事不寧，需要與他解愁消悶，啊，是

了，不免叫丫環出來，與他解愁消悶爲妙，衆丫環乃裏？ 丫 來者來

者，太師在上，衆丫環叩頭。 相 起來。 丫 叫丫環出來，有何吩咐？

相 非爲別事，你們進去，哄得小姐一笑，賞銀子一刃。 丫 兩笑呢？

相 就是兩刃。 丫 三笑呢？ 相 三刃。 丫 十笑呢？ 相 就是十刃。

丫 倘若小姐笑得胃口開者，嘴巴笑得閉勿弄者，太師賞銀¹²⁸子多少

者？ 相 呢¹²⁹小賤胡說。 丫 阿姐，阿妹噲，太師發惡亂者，仵大家

還是哄小姐起笑起。 丫 嘔大家走咯。

一衆丫環往內行 前去哄笑貴千金

不表丫環情由事 且 提表姣英哭悲啼

綉閣春深晝日長，佳人無意綉鴛鴦，奴家駱氏姣英，年方二八，爹爹

¹²⁸ “賞銀子”，原寫作“償良子”，今正。下同。

¹²⁹ 促，疑“呢”之誤。石印本(第11頁)作“呢，賤人胡說。”。注云：“呢，嘆詞。”。今正。下同。

駱賓，官拜首相，母親李氏，不幸去世，七位兄長，在朝伴駕，嫂嫂們在家，十分賢德，這也不在話下，想奴終身由萬歲爲媒，許配潼關沈千歲之子沈標爲室，聞得他相貌醜陋，道理全無，依勢橫行，奴的終身如何是好？思想起來，好不傷心人也。

姣英小姐暗傷心 奴奴命運苦十分
可恨君王太無理 將奴錯配沈家門
沈標爲人全無理¹³⁰ 況且醜陋不成文

倘若日後來迎娶 叫奴如何做得人
本欲早早來傷身 七位嫂嫂勸奴身
蒼天爲何作弄人 偏偏許配這廢人
思思想想心頭悶 眼淚汪汪好傷心

姣英姑娘心悲泣 嫂 來了七位少夫人

姑娘請來見禮。旦 各位嫂嫂，小妹有禮奉還，請坐。嫂 請坐，嚇，姑娘，見你悶悶不樂，何不去到花園遊玩一番，以消悶懷，況且園中百花齊放，桂花盛開，十分清香，請姑娘觀看花景，意下如何？旦 嫂嫂欲要遊玩，小妹當得奉陪¹³¹。嫂 如此姑娘，請。旦 嫂嫂請。嫂 丫環前面引路。丫 嘔，曉得者。

嫂 姑嫂移步出閨房 丫 一衆丫環走得忙

嫂 一齊來到花園內 觀看花景甚軒昂

旦 七位嫂嫂觀花景 我姣英只是暗悲傷

¹³⁰ “無理”，或改作“無禮”。《雙英寶卷下本》云：“沈標禮儀全無”。待考。

¹³¹ “陪”，原寫作“倍”，今正。下同。

想到奴奴終身事 哪有心思花景賞¹³²

秋天無樹枝多殘敗 梧桐葉落好淒惶

將身行到花亭上 嫂 夫人啓口把話講

嚇，姑娘，桂花亭上請坐。 旦 嫂嫂們請坐。 嫂 嚇，姑娘，你看桂

花十分茂盛，請姑娘折幾枝桂花，可做蟾宮折桂。 旦 嚇，嫂嫂呀：

奴見桂花淚連連 維¹³³有奴命苦十分

有福之人做夫人 蟾宮折桂步步升

哥哥在朝爲官職 七位嫂嫂受皇恩

小姑配與廢人身 乃能爲官在朝庭

奴奴乃有皇恩受 怎做蟾宮折桂人

說起此事心悲泣 嫂 夫人重又說原因

嚇，姑娘，你看半天鴻雁飛來作字成對，倒也看得。 旦 嚇，嫂嫂嚇：

奴看鴻雁哭啼啼 對對成雙排字飛

成對可比兄和嫂 孤雁可比薄命人

小姑哪有成雙日 心中思想好孤淒

可憐終身不樂意 不如削髮爲僧尼

說罷轉過假山去 嫂 夫人啓口把話提

嚇，姑娘，海棠亭上請坐。 旦 眾位嫂嫂請坐。 嫂 姑娘你看海棠，

對着梨花，倒也好看。 旦 嚇，嫂嫂，想乃種花之人，好生無理，想

海棠乃是姣嫩之花，梨花乃是粗蠢之花，如何對種，小妹倒要提詩一

首。 嫂 倒要請教，丫環取筆墨過來。 丫 曉得。

¹³² “賞”，原寫作“償”，今正。下同。

¹³³ “維”，石印本(第11頁)作“惟”。

旦 詩曰：

二八佳人巧梳妝 紅顏薄命配醜郎

世間多少不平事 可恨梨花對海棠

嫂 嚇，姑娘，你不愛梨花，可以砍掉。丫 喂阿姐，阿妹，佢小姐真當¹³⁴聰明，海棠姣嫩比得自者，梨花粗蠢比得沈姑爺者，梨花看勿入眼，可以砍掉，難道沈姑爺也好砍掉勿成麼？旦 呢，賤人胡說。丫 嘎咦，小姐已要發惡亂者，噲，少夫人喂，看小姐心事勿寧，佢丫頭到倒有個主意來帶，勿如開之園門，外面是條小街，有走索個，嬉罐個，嬉彩瓶個¹³⁵，變大戲法個¹³⁶，起看看街景也好，消愁解悶。嫂 嚇，且住，本該是使不得的，如今小姐心事勿寧，你們要去開了園門看看街景。丫 嘔阿姐，阿妹，哄得發有得搭¹³⁷，哄得笑，大家有得巧，大家動手。

丫環忙把園門開 嫂 姑嫂移步往外來

姑嫂站在園門口 生 王應文大步走過來

今朝好像¹³⁸癡女樣 丫 哈哈丫環一見笑起來

噲，少夫人，呆婆¹³⁹來者，呆婆來者。少 怎樣的呆婆？丫 喏，風來者末，蹲倒者，風起者伊立起者，喏喏，呆婆來者，呆婆來者，大家來看呆婆來個。

旦 小姐聽說把頭擡 哈哈無意之中笑出來

¹³⁴真當，的確（《紹興方言研究》第188頁）。

¹³⁵此兩句，石印本（第11頁）作“嬉缸弄鑊”。注云：“嬉，玩兒。”。

¹³⁶變（大）戲法，表演魔術。

¹³⁷石印本注云：“哄得發有得搭，如果奉承得人家發了財，咱們也可以沾點光。”。

¹³⁸“像”，原寫作“象”，今正。下同。

¹³⁹呆婆，石印本注云（第11頁）：“呆婆，傻女人，痴婆子。”。

丫 丫環一見多歡喜 報與相爺賞錢財

阿姐阿妹，小姐笑過者，**叻**問相爺領賞起。**丫** 大家走咯，來至高廳，啓稟相爺，小姐被丫環哄笑了。**相** 什麼？被你們哄笑了？**丫** 哄笑者。**相** 怎樣笑的？**丫** 還要還點頭帶來，相爺喏，伢想小姐心事勿寧，到花園去看看花景，小姐仍然勿高興，後來丫環開之園門，看看街景，勿曉得來得個呆婆，風來者蹲到者，風起者，立起者，小姐一見，實介¹⁴⁰笑者，伢丫環前來領賞。**相** 少刻領賞。**丫** 賞錢也要欠欠個。**相** 小賤胡說，我卻不信，待我去看個明白。**丫** 嘔，一徑來到花園，衆位少夫人、小姐，相爺來看呆婆者。**少** 什麼？公公來了，我們迴避了吧，姑娘請。**旦** 嫂嫂請。

不表姑嫂回房去 **相** 再表相爺到園亭

行來已到花園門 舉目擡頭看分明

一見此人心疑惑 男扮女妝爲何因

書童。**什** 咱。**相** 叫那人轉來。**什** 曉得，叻，那人轉來，我家相爺有話。**生** 嚇，且住，聽他口說相爺，諒必當朝一品，想我也是宰相公子，如此形狀，倘若真情說出，豈不慚愧，不如哄他一哄，來比園門，嚇，相爺，叫難人轉來有何吩咐？**相** 叫你非爲別事，想你男子扮作女子，敢是哄動¹⁴¹人心，是何道理？**生** 啓稟相爺，難人一言奉告：

相爺嚇非是難人哄人心 只爲七歲遇拐人

將我騙到貴鄉地 賣與陳府做書童

¹⁴⁰實介，這樣；這麼。吳方言。（《吳方言詞典》第309頁）

¹⁴¹“動”，原寫作“同”。石印本（第12頁）作“敢是哄動人心”，今從之。

只爲玉硯來打碎 主人取我命殘生
多虧乃燒飯媽媽來釋放 男扮女裝去逃生
難人句句真情話 還望相爺恕罪名

相 相爺聽了言和語 腹內暗暗自思忖

乃相爺把此人上下打量一番，心中暗想，他雖男扮女裝，舉止¹⁴²行動穩重，出言吐語文雅，老夫十分喜歡，便道，想你家主人氣量太小，一方玉硯打碎，就要取你一死，想別人道你來歷不明，老夫倒不怕你的主人生事，你不如在我府中做一名書童，你道如何？ 生 難人思忖回話，且住，想我也是宰相公子，況且鬢門秀士，豈肯與人當作書童，但我一來盤費全無，二則衣衿沒有，待我有了盤費衣衿，再作計較便了，嚇，相爺，既蒙擡愛，無不遵命。 相 未知你要多少身價？ 生 相爺容稟：

相爺你且聽分明 身價不要半毫分

賣身文契我不寫 伏望相爺納此情

相 相爺聽說來應允 好個聰明伶俐人

待我與他取個名字，把他取名新來，好從今以後，就叫你新來，不分內外進出，好生服侍，以後老夫重重有賞。 生 多謝相爺。 相 書童。 什¹⁴³ 咱。 相 命你領了新來到書房改換衣衫，進內去見過七位少夫人與小姐。 淨¹⁴⁴ 曉得。新來哥隨我來。 生 是來了。

書童領了進書房 生 新來即便換衣裳

¹⁴² “止”，原寫作“子”，以意正。

¹⁴³ 什，石印本(第13頁)作“雜”。在此應寫作下面的“淨”。

¹⁴⁴ “淨”，石印本作“丑”。

丫 丫環聽了多明白 急急回身走得忙

將身進了閨房內 一見夫人把話講

今朝有件新聞¹⁴⁵事 特來稟告女紅妝

少 丫環有什麼新聞事？

丫 啓稟夫人小姐，方才因門外來個勿是呆婆，實個呆公。少 什麼？

他是男的嗎？丫 嗯，我裏相爺問伊個，伊話是陳家書童，只爲玉硯打碎，主人將伊衣衫剝落，取伊一死，多虧媽媽相救釋放出門，如今

相爺留進府中，當作書童，勿分內外，任憑使喚，取名新來，就要進來叩頭領賞咚者。少 如此叫他進來。丫 嘔，新來哥哥，快快進來，

見過各位少夫人與小姐。生 是。丫 喏，葛個七位是少夫人，當中是小姐，喏要端端正正碰幾個頭，夫人小姐有賞個。生 曉得。

新來即忙跪埃塵 叩見七位少夫人

低下頭來暗思忖 見他們個個貌超群

七位夫人都叩過 當中再叩女千金

總道完英容貌好 誰知他更比楊氏勝幾分

小姐花容多絕色 未知金蓮有幾寸

低下頭來看靈清¹⁴⁶ 妙嚇好似一對水紅菱

新來叩頭身不動 丫 呔旁邊丫環喝一聲

噲，新來哥哥，喏爲啥碰頭連帶牢會叩個，我來帶不倂數剛剛叩得十六個半。生 嚇，大姐，怎麼會有半個頭呢？丫 喏喏剛剛要碰落起

¹⁴⁵ “聞”，原寫作“文”，以意正。

¹⁴⁶ 靈清，紹興方言。清醒，清楚（《紹興方言研究》第126頁）。石印本（第14頁）作“低下頭來看个清。”。

者，我呔葛？得聲，撥倌標得半個。 生 嚇大姐，想七位少夫人時常可見，乃小姐在香閨綉閣難得見的，所以我要多叩幾個。 丫 介末倌只管叩咚咚。 旦 小賤胡說，叫他出去。 丫 嚇小姐已要發惡亂者，新來哥哥走出起者。 生 是。 少 嚇姑娘，見新來書童文質彬彬，相貌非凡。 旦 嚇嫂嫂，我家有這樣的俊秀書童帶了出門，主人的面上也有多少光彩。

少 嚇姑娘嚇：

奴見新來貌傾城 不像書童另有因

舉止端方多穩重 好似途中落泊人

回言便把丫環叫 你且聽我說原因

丫環你取銀子十四刃，松江小布七疋賞與新來。 丫 嘔。 旦 丫環取銀子四刃，紡綢兩疋賞賜與他，速去速來。 丫 嘔阿姐噲，阿妹噲，呔帶新來哥哥裏起者，東西挖得起，行來已到書房，喂，新來哥哥見禮者。 生 有禮奉還，二位大姐到此，莫非小姐叫我有事麼？ 淨 倌聽我息得，小姐嘔倌則啥？喏葛個實少夫人賞銀子十四刃，松江布七疋。 丫 喏葛個實小姐賞倌個銀子四刃，紡綢兩疋，喏挖得起，想倌總後生家勿可浪吃、浪用，要做人家¹⁴⁷些個。 生 這個自然，還望二位大姐與我代謝少夫人與小姐。 丫 謝謝末總是呔者。 丫 噲，新來哥哥倌今年幾歲者？ 生 一十六歲了。 丫 介末倌新來嫂嫂討勿討噲¹⁴⁸噲來？ 生 沒有。 丫 介末伢來撥倌做媒者。 生 休得取笑。 丫 看伊介大年紀者，還怕羞帶來，走得進起者，外還是回稟夫人小姐知道便

¹⁴⁷做人家，勤儉節約。吳方言。（《寧波方言詞典》第 183 頁）

¹⁴⁸“噲”，原寫作“噲”。石印本注云（第 14 頁）：“噲，助詞。”。

了。

慢表丫環稟小姐 生 再表書童王應文

本該收入回家去 難捨小姐女千金

按下應文來自嘆 千 再表潼關一段情

身受爵祿心不寧，未知何日坐龍庭，本藩沈榮，奉旨平西有功，蒙恩封我平西王之職，永鎮潼關，吾心不服，欲要登其大寶，奪取錦繡江山，如今差黑元帥往高麗借兵十萬，前來攻打，至今借兵未回，好生掛念，這且不表，本藩單生一子，取名沈標，乃年聖上為媒，是福建泉州府、晉江縣駱賓之女，名曰姣英，配與我兒為室，想乃駱賓有七個兒子，在朝為官，如何是好？噯有了，不免叫我兒去到他家完其花燭，日後興兵之時，亦有內助之力，有道自親必顧，自鄰必護，本藩何愁大事不成，來。 什 咱。 千 叫後堂世子爺出來。 什 世子爺有請。 丑 來者來者，忽聽堂上叫，眉毛別別跳，若還來遲到，要吃栗子泡¹⁴⁹，平西王阿伯爹在上，做倪子個拜揖者。 千 兒嚇，罷了，一旁坐下。 丑 咳阿伯爹，做倪子個一向歡喜蹲椅子個，葛息毛我蹲帶者，阿伯爹喏叫倪子出來，有啥屁放¹⁵⁰？ 千 唔比方¹⁵¹，叫你非為別事，為父叫你到福建泉州府晉江縣，與駱氏完姻，可作內助一臂之力，為父不怕大事不成了。 丑 好個好個，難得我裏個長氣個阿伯爹¹⁵²。 千 畜生胡說。 丑 喂，阿伯爹，如今偌是千歲，我是世子爺，才話偌做皇帝，我做太子者，早末偌死還，我好做皇帝者。 千 畜生多講，

¹⁴⁹石印本注(第15頁)云：“吃栗子泡，彎曲食中二指敲擊頭部。”。

¹⁵⁰“屁放”，原寫作“庇方”，義不通。石印本(第15頁)作“有啥屁放”，據改。

¹⁵¹“唔屁放”，原寫做“唔比方”，據上下文意思，應為“唔屁放”，即“無屁放”，是針對上句的回答。

¹⁵²長氣，爭氣。音同而誤。整句意思為：難得我這個爭氣的爹爹。

來。 什 咱。 千 擺酒與世子爺餞行。 淨 是。

千 千歲吩咐忙擺酒 丑 世子爺得意喜悠悠

千 千歲重又開言說 兒嚇爲父有言說情由

嚇兒嚇，你此去駱府招親，他家用事須要留意，處處須要謹慎，牢牢

記住。 丑 有數者。 千 家人。 什 咱。 千 好生服侍世子爺，回來

重重有賞。 淨 曉得。 丑 阿伯爹偌放心，做倪子個拜別去者。 㗎

㗎¹⁵³。 淨 咱。 丑 撥我搭跳，我要落船起者。

世子即便就登程¹⁵⁴ 要到泉州去成親

吩咐水手忙開船 撐起一張大風篷

發起一頭大順風 不覺來到泉州城

淨 啓世子爺，泉州到者。 丑 乃啥泉州到者，將船停泊，扶我上岸

㗎。 淨 咱。 丑 伢前去遊玩一番。 淨 曉得。

丑 嗟泉州果然好一片繁華景致也。

世子爺，上街坊，閑游消悶，話不盡，泉州府，繁華一片。

走大街，穿小巷，香風撲面，這些乃，年少婦，勝似天仙。

進茶坊，並酒樓，合群談天，只見乃，西街上，輻輳¹⁵⁵福湊人煙。

一路上，來行走，風吹柳舞，有幾間，高大樓，意欲人眼。

且住，來到此地，有幾間高大房屋，未知可作公館？ 㗎。 淨 咱。

丑 不知啥人我個房屋，我世子爺，意欲要做公館。 淨 曉得，裏面可

¹⁵³ 㗎，對小孩子的稱呼，一般女孩子寫作囡，男孩子寫作团。音同（nan1）。石印本（第16頁）作“囡”，注云：“孩子，這裡指書僮。”。

¹⁵⁴ “程”，原寫作“呈”，今正。下同。

¹⁵⁵ “輻輳”，原寫作“福湊”，今正。

有人麼？ 什 來者來者，你到來何事？ 淨¹⁵⁶ 噲，老人家，偌這幾間房屋，可肯租作公館？ 什 可以租得，你問他什麼？ 淨 我裏潼關世子爺，要到駱府成親，你的房屋要租用數月，每月租金多少？ 什 既然是駱府貴親，就不用講房金，請世子爺前來安寓。 淨 啓世子爺，房主言道，駱府貴親，勿用講房金，請世子爺安寓好者。 丑 唎吶，將行李搬進起是者。 淨 曉得。 丑 唎吶，想我來到此地，本當要去拜望老駱，想伊無非是個宰相，我是個世子爺，難道我世子爺起拜望伊，噯，有者有者，難爲伊是我個丈人阿伯，我就用名帖一個，唎吶。 什 吶。 丑 偌起通報一聲，叫話世子爺到者，嘔老駱撥我早些做親拜堂，勿得有誤。 淨 嘔，曉得者。

家人奉命不留定 手拿名帖往前行

一路行程無耽¹⁵⁷ 攔 不覺來到駱府門

門上可有人在？ 什 來了是乃一個？ 淨 望你門官前去通報相爺，我奉仵，潼關世子爺之命，前來你駱府招親，有名帖呈上。 什 嘔，曉得者。

家人接帖身進內 稟告相爺得知情

宣到此處停半本 盤戒¹⁵⁸揚名下回聽

¹⁵⁶ “淨”，原寫作“什”，以意正。

¹⁵⁷ “耽”，原寫作“擔”，以意正。下同。

¹⁵⁸ 盤戒，待查。石印本(第16頁)作“露戒”。或爲“盤問”之意。

雙英卷 下本

前蒙聖恩作冰人 誰知我女不稱心

老夫駱賓，只爲我女終身錯配，聞得沈標禮義全無，相貌醜陋，我女心中不服，日夜啼哭，皆因聖上爲媒，出于無奈。**淨** 報啓相爺，潼關世子爺到者，住在西街公館，有名帖呈上。**相** 待我看來，嘎嚇，他竟不來拜望老夫，好生無理¹⁵⁹，且住，待我前去看他相貌，情形如何，言之有理，來。**什** 咱。**相** 打轎公館。**什** 嘎嘎。

相爺打轎往街坊 去到公館看情常

行來已到公館首 **淨** 家人即便報事忙

門上乃一個在？**什** 是乃一個？**淨** 駱相爺前來看望世子爺，有名帖呈上，相煩通報。**什** 候着，啓世子爺，外面駱相爺前來看望，有名帖呈上。**丑** 乃啥老駱到者，做伊話我世子爺本應出來迎接，只因路上受了風霜之苦，不能迎接，嘔伊自介跑進來罷者。**什** 曉得。啓相爺，我裏世子爺言道，因路上受了風霜之苦，勿來迎接，請偌自介進去。**相** 有這等事來，真真豈有此理！

太師無奈出轎，將身進內，擡頭一看，大吃一驚，勉強叫聲賢婿。

丑 偌葛位莫非是丈人阿伯，做女婿個本該拜偌一拜，我想偌必須要回我一回，倘若做偌腰骨酸帶還，多有勿便，還是大家兩折¹⁶⁰者。**相** 唔，賢婿請坐。**丑** 丈人阿伯偌老實咚，我向¹⁶¹來喜歡蹲椅子個。**相**

¹⁵⁹ “無理”，此處改寫“無禮”比較合適。但方言中用“無理”做形容詞，形容爲人處事蠻橫、不講道理，但究竟用哪個字，未有定論。如改寫作“無禮”，似乎涵義縮小。

¹⁶⁰ 兩折，兩結，互相抵消。

¹⁶¹ “向”，原寫作“相”，今正。

嚇，賢婿一路上可平安否？ 丑 我有啥勿平安呢？ 相 嚇，賢婿在府十三經中讀過幾經了？ 丑 我落讀過個多者，喺有三官經，觀音經，血盆經，受生經，金剛經，彌陀經，楞嚴經¹⁶²，蓮花經，高王經，華嚴經，太陽經，心經，還有陀羅尼多經，不是十三經嗎？ 相 不是釋家之經，是儒家之經。 丑 乃啥讀書叫唸經？丈人阿伯，我書勿用讀者個。 相 爲何？ 丑 丈人阿伯喺：

窮人讀書富來求 只爲金銀¹⁶³滿門樓

富人讀書貴來求 只想朝中做公侯¹⁶⁴

想我富也有貴也有 何用讀書掛心頭

阿伯爹在朝千歲做 富貴雙全勿用求

偌還是快快與我完花燭 早早撥我結並頭

相 相爺聽得心頭怒 果然形狀習下流

想在家既不讀書，你做些什麼？ 丑 我大年初一到三十日，夜一息都勿空個。 相 你有什麼可忙？ 丑 我吹¹⁶⁵遊遊四景，高興者末殺殺人，放放火，好看好看，所以以息勿空個。 相 如此行爲，你令尊多多失訓，只怕你死無葬身之地也。 丑 乃啥死無葬身之地？分明話我天勿容者，偌直結¹⁶⁶放乃娘個狗屁，拖帶進來，佬三佬四¹⁶⁷葛勿話起撥我成親，反來咒罵我世子爺，偌想賴婚勿成。 相 我就賴婚何妨？

¹⁶²原寫作“侖言經”，未詳。應改寫“楞嚴經”。石印本(第17頁)所列舉的十三經是：“三官經，觀音經，楞嚴經，彌陀經，花花經，高王經，血盆經，華嚴經，救苦經，妙沙經，陀羅經，還有般若波羅蜜多心經”。稍有異同。

¹⁶³“銀”，原寫作“艮”，今正。

¹⁶⁴“侯”，原寫作“候”，今正。

¹⁶⁵“吹”，義未詳。待考。

¹⁶⁶“直結”，“接”與“腳”同音，應改作“直腳”。石印本(第18頁)作“直腳”。注云：“直腳，實在”。

¹⁶⁷佬三佬四，《寧波方言詞典》寫作“老三老四”，形容說話口氣大，傲慢不虛心。

丑 呸，偌個老賊，我有大笠帽¹⁶⁸蓋頂，皇帝阿伯作媒，只怕偌個吃飯家伙¹⁶⁹要撥儂分家者。

想我媒人是君皇 勿怕偌賴婚起心狠

倘若逆了萬歲旨 滿門抄斬吃刀亡

相 嘎嚇，真真氣死我也。

相爺此刻怒心窩 聽他言語有蹉跎

閑時冷眼觀螃蟹 看你橫行到幾何

吩咐家人忙打轎 一路之上淚如梭

不表相爺回家去 丑 世子口內罵囉嗦

有介個老勿死帶來，太歲頭上來動土¹⁷⁰者。 吶。 什 咄。 丑 乃撥我大些毛竹火梢挖一把，把老賊趕出起，快快擺酒與我消氣消氣。 什 嘔，曉得者。

丑 世子爺此刻怒沖沖 飲酒消氣寬寬胸

不表沈標氣殺人 生 再表新來小書童

埋藏在天羅，何日見姣娥，小生王應文，如今在駱府做了書童，取名新來，見小姐花容艷色，未知才能如何，今日七位少夫人與小姐花園飲酒賞月¹⁷¹去了，想我內外不忌，不如大膽走到小姐房中，假意送茶，偷看小姐的詩賦，就可知道小姐的才學也。

應文想罷進房門 偷看詩賦便知情

¹⁶⁸ “帽”，原寫作“𦘒”，疑俗字。石印本(第18頁)作“大箬帽”，注云：“比喻權威最大的皇帝。”。今正。

¹⁶⁹ “吃飯家伙”，石印本注(第18頁)云：“偌個吃飯個傢伙，你的腦袋。”。亦稱為“吃飯家生”。《吳方言詞典》(第158頁)云：“吃飯家生，指頭顱(談諧的說法)。”

¹⁷⁰ “太歲頭上動土”，成語。比喻觸犯凶惡強暴的人，將會招致禍殃。

¹⁷¹ “飲酒賞月”，石印本(第18頁)作“飲酒賞菊”。

心中暗想往前走 旦 小姐后面進房門

嚇新來，你在此做什麼？ 生 𠵼¹⁷²，小姐，我是送茶來的。旦 因何
丫環不來送呢？ 生 因大姐們不在，所以我代送來的。旦 想你內外
不忌，亦可代送。 生 正是，小姐請用茶。

應文得意喜歡 香茗送與女千金

手中露出梅花戒 旦 嚇小姐一見突然驚

觀看此戒多奇異 爲何落在此人身

啓口便把新來叫 戒子與我看分明

嚇，新來，你的戒子¹⁷³讓我看看。 生 這是梅花戒子，請你小姐觀看。

丑 待奴看來。 丫 噲，新來哥哥，相爺客口¹⁷⁴有事。 生 小姐我去
了。梅花戒子是要還我的。旦 好，你去罷，少刻還你。 生 曉得。

新來移步出房門 旦 小姐見戒暗疑心

奴奴想起梅花戒 贈與完英兩離分

難道他在飯店住 完英見了喜歡心

梅花戒子私相贈 終身許配兩相親

等他來討梅花戒 問明情由放我心

不表小姐心疑猜 生 再表應文進內來

小生王應文，送茶已畢，進去向小姐討還梅花戒子，二來探聽小姐的
姻親，主意已定，走嚇。 丫 噲，阿姐阿妹，噲，今朝小姐個催命鬼
到者。 生 什麼催命鬼，嚇，二位大姐，這句話是什麼意思？可否對

¹⁷² “𠵼”，答應聲（《吳方言詞典》第22頁）。石印本（第18頁）作“嚇”。或疑“嚇”之誤。

¹⁷³ 戒子，戒指。

¹⁷⁴ 此字漶漫，待考。石印本（第18頁）作“相爺有客，嘔唔送茶去。”。

我說說？ 丫 嚇，新來哥哥，不倂聽見者，倂勿曉得細底¹⁷⁵個，我就同倂講講，喺我裏小姐個終身，有皇帝阿伯做媒個，許配潼關沈千歲之子，名叫沈標，勿想伊個人，禮義全無，相貌醜陋，小姐勿稱心，難末¹⁷⁶沈標來冬者，西街上打公館住哼，嘔咾相爺安¹⁷⁷排花燭，我裏小姐，前番有話，話過個¹⁷⁸，若還沈標到來做親，一定要尋死者個，豈非是小姐個催命鬼到者？ 生 呀，有這等事來？ 丫 噲，新來哥哥，早倂外頭勿可七搭八搭¹⁷⁹起話，要害你淘氣個，才話淘氣，要做倂着個。 生 是。 丫 阿姐阿妹，你我快快報與小姐知道便了。 生 嚇可惜、可惜。 丫 小姐噲，勿好者、勿好者。 旦 爲何？ 丫 沈姑爺到者，西街打公館住哼。 旦 有這等事來？ 嚇，不好了，嚇。 丫 小姐蘇醒、小姐蘇醒。

曉得我三魂不在身 正好比萬把鋼刀刺我心

罵聲昏君太無禮 不該將奴錯牽線

奴奴冤氣難伸訴 只得靠窗告青天

推開半窗告明月 只見月光照窗前

你是廣寒嫦娥女 明月清風自安然

怎生學得嫦娥女 無憂無慮在青天

惟有姣英多命苦 看來要屈死傷黃泉

¹⁷⁵細底，內情、根源。（《紹興方言》第 318 頁）

¹⁷⁶石印本注云（第 19 頁）：“難末，如今”。

¹⁷⁷“安”，原寫作“按”，今正，下同。

¹⁷⁸“前反有話，話過個”，石印本作“番話過個。”。注（第 19 頁）云：“番話，宣布。”。“反”字應寫作“番”，意謂“前番有說，說過了。”

¹⁷⁹七搭八搭，一作“搭七搭八”，隨便跟人拉扯或發生關係。（《紹興方言》第 288 頁）

小姐對月心悲泣 生 窗外王生淚珠漣¹⁸⁰

爲人怎好比明月 令人聽得更慘然

旦 小姐聽了言和語 呢¹⁸¹何人前來多插言

促住了，奴家窗前講話，何人前來插嘴？ 生 嚇，小姐，是我新來。

旦 新來，你在此做什麼？ 生 我前來向小姐討還梅花戒子。 旦 新來你的戒子從何而來？不須隱瞞，細細說來。 生 小姐容稟：

小姐在上聽原因 新來細細告知聞

家住浙江寧波府 定海縣內王家門

爹爹廷貴爲極品 小人三字王應文

今年年方十六春 去年入泮在黌門

看潮失水到泉州 洗盡衣服被賊偷

楊媽媽相救贈衣衿 完英姑娘送飯臨

我與完英終身訂 梅花戒子私相贈

旦 小姐聽了言和語 原來官家後代根

嚇，原來是宰相公子，奴奴失敬了，既是官之後，何不早早回去？ 生 小姐嚇：

小生心想回家門 身無分文難起程

腹中飢餓身寒冷 無奈只得走街心

行過你府來留進 見了小姐貌超群

誰知小姐豪門配 小生枉費一片心

¹⁸⁰ “漣”，原寫作“連”，石印本(第19頁)作“淚漣漣”，今從之。

¹⁸¹ “呢”，原寫作“促”。石印本作“呢”，今正。石印本注云(第20頁)：“呢，嘆詞”。

進來討還梅花戒 見戒元如見完英

不久就要回家去 意欲上京求功名

承蒙小姐來動問 小生句句是真情

旦 小姐聽了更心酸 即便啓口叫王生

嚇，王生，聽你說來，你與楊氏完英，結爲佳偶，想奴與完英結拜姐妹，勝似同胞，這梅花戒子原是奴奴贈送與他的，嚇。

小姐此刻淚汪汪 悲悲切切靠紗窗

完英當初也在此 結拜姐妹伴閨房

那日姐妹來分別 奴奴難捨女紅妝

梅花戒子分兩處 一隻贈他占家邦

但願姐妹重相會 一對戒子再成雙

誰知賢妹贈了你 見物思情心更傷

要奴還戒不能夠 權且留在奴身旁

奴想賢妹能有福 郎才女貌配成雙

唯有姣英多薄命 看來不久一命亡

王生嚇請你且暫住幾日 聽奴吉凶占浙江

日後完英成親日 將奴苦衷告紅妝

若說奴奴終身事 來生與你再成雙

生 應文聽了淒涼話 好言好語勸紅妝

嚇，小姐，聽你說得淒涼，勸小姐切莫自尋，想相爺年邁蒼蒼，倘有不測，那還了得，有道螻蟻尚且惜命，在生一日，勝過千年，嚇小姐嚇。

勸你不必太傷心 令¹⁸²人聽得也悲疼

得一日來過一日 暫且權度過光陰

小姐若還來自盡 相爺年邁怎理論

莫說應文難捨你 豈可拋撇一日¹⁸³傾¹⁸⁴

旦 小姐聽了言和語 難得王生勸我身

暗想他有戀我意 介勸之言情意深

越思越想心悲切 啊唷一口鮮血吐埃塵

生 應文一見心膽驚 好言安慰女千金

嚇，小姐，看你口吐鮮紅，還須保重身體要緊，請小姐回房去吧。

旦 小姐無奈關窗門¹⁸⁵ 雙眼含淚進房門

不表小姐身安息 生 提表應文往外行

人人都說天有眼 我說蒼天瞎眼睛

小姐才貌雙全女 爲何弄得這般形

理該才子配佳人 因何對面不相親

本該收入¹⁸⁶回家去 難得小姐留我身

且在他家住幾日 看其動情再回程

想起小姐心悲切 相 相爺一見問原因

嚇，新來，因何在此悲淚？

生 相爺我想起苦楚，故而悲淚。 相 新來，見你常常悲淚，不像書

¹⁸² “令”，原寫作“另”，今正。

¹⁸³ “日”字漫漶不清，待考。

¹⁸⁴ “傾”字，疑“情”之誤，待考。

¹⁸⁵ 窗門，窗戶（《紹興方言研究》第109頁）。

¹⁸⁶ 收入，石印本注云（第21頁）：“收入，收拾。「入」「拾」浙音同。”。紹興方言，“收八”即收拾。完蛋。（《紹興方言》第317頁）。“入”，或疑形近而誤。

童之輩，你到底家住乃裏？姓甚名誰？家中作何事業？細細說來，老夫好幫¹⁸⁷助與你。 生 相爺容稟：

小人家住浙江省，寧波府，定海縣，爹爹姓王名廷貴，爹娘不生多男，單生小生一人，不幸雙親去世，多虧義僕撫養成人，小生取名應文，在年一十六歲，去年身入贅門，只爲看潮失水，多虧楊媽媽相救，小人句句實言，望相爺恕罪。 相 我道是誰？原來還是賢侄，嚇，賢侄，你令尊在日，老夫與他同庚，情以膠漆¹⁸⁸，想你那日進府，何不真情說出？隱瞞到今，多多受辱，望勿見責。 生 好說。 相 賢侄你乃贅門秀士，今年乃大比之年，你可上京赴考？ 生 如此年伯大人在上，小侄拜揖。 相 不敢，請坐。 生 告坐了，既蒙年伯美意，小侄上京赴考，定于明日起程。 相 如此，老夫正端行李，白銀五百兩，家人兩名，衣衾四套，家人。 什 喏。 相 明日服侍王相公上京赴考，得中回來，重重有賞。 什 曉得。 相 來呀。

什 喏。 相 備酒餞行。 什 喏。 相 賢侄請。 生 年伯大人請。

相 賓主謙遜共談心 故舊相逢喜歡心

生 應文出席來拜別 叩別年伯上京城

中 家人肩挑行李和李 相 相爺送出大垵¹⁸⁹門

生 不表應文上京城 旦 提表閨閣女千金

命中生得犯孤凄，一世終身無靠依，奴家駱氏姣英，只爲萬歲爲媒，配與沈標爲室，如今冤家已到，爹爹去到公館見他，如同廢物，言語

¹⁸⁷ “幫”，原寫作“邦”，以意正。

¹⁸⁸ “漆”，原寫作“泔”，疑為俗字。今正。

¹⁸⁹ “垵”，應爲“牆”的俗字，因“羊”與“牆”同音。“大牆門”吳語中即“大門”。疑爲俗字，待校。石印本(第22頁)作“相爺送出府大門”；石印本(第27頁)作“已是駱府大牆門”。

冲撞，我爹爹見他形狀如同禽獸，倘若奴與他完姻，總然難在人間，
思想起，好不傷肝人也。

小姐思想好傷心 可恨廢物到來臨
紅顏女子多薄命 醜陋女子做夫人
不如削髮去修行 斷絕紅塵一片心
倘若貪生留人間 想他怎肯饒我身
左思右想無了計 不如早早喪殘身
雙膝跪在塵埃地 拜謝爹娘養育恩
拜罷一番抽身起 罷罷一根絲帶手中存
閻王注定三更死 斷然留不到五更
小姐閨房來上吊 少 七位少夫人進房門
大家唬得魂飛散 慌忙相救女釵裙
姑娘蘇醒、姑娘蘇醒。 丫 小姐蘇醒、小姐蘇醒。 少 丫環快取參湯
過來。 丫 曉得。

旦 嚇苦嚇，姣英女 漸漸醒 哀哀痛哭
哭一聲 奴苦命 好不傷心
恨只恨 怨只怨 昏君錯配
大不該 來作伐 配與廢人
害得奴 無處訴 尋死短見
七位嫂 何苦的 相救奴身
想爹爹 奴終身 難以¹⁹⁰作主

¹⁹⁰ “以”，原寫作“已”，今正。

看起來 小妹我 留着何用
到後來 他迫婚 奴命歸陰
千不死 萬不死 總然一死
可憐奴 女姣英 痛苦萬分
看後來 我的命 究作何論

少 勸姑娘忍耐纔是，萬事皆有天數，緩緩設計便了，姑娘嚇：

七位夫人勸姑娘 切莫悲傷哭淒涼
沈標雖然來到此 緩緩拖延婚期長
姻緣雖是君王定 想定妙計不外揚
還須加意來保重 靜養身體莫愁腸

不表姑娘閨房事 丑 再表沈標去私訪

奉命來完姻，老賊太欺人，學生沈標，奉阿伯爹之命，到駱府成親，住在公館，勿想老賊，前來拜望與我，爭鬧一場，聽伊口氣，有賴婚之意，我有皇帝阿伯做媒，勿怕偌老賊賴婚，我想老賊，嘔丫環調包來與我成親，我乃會曉得？噯，有者、有者，我勿如扮作平民模樣，私行到伊個花園，倘若小姐來遊玩花園，撥我看個明白，日後伊想調包，我就可以認出真假，勿錯，仰我獨個人，到伊個花園裏起走走罷者。

沈標想罷就動身 扮作平民一般形

搖搖擺擺勿留定 來此已是花園門

噲，到者，園門還勿關，仰我進去，喂、喂，一臺牢門介小，我人大，一隻腳軋偏者，噯，還好還好，總算走進帶者，只見樓臺亭閣、秀竹

蒼松，還可看得，且住，我在此觀看，才話撥𠵼下等人看見，認得我個，因我滿身認號¹⁹¹到底，𠵼，有者、有者，葛里有個秀竹亭帶，不免去躲一躲，偷看一番是者。

沈標進了秀竹亭 專¹⁹²等佳人到來臨

不表沈標亭中等 丫 要表丫環一眾人

前世勿肯修，今世做丫頭，福氣也勿邱，吃個油來穿個綢，住個都是走馬樓，三餐茶飯伸伸手，四季衣衫薄薄周，常常去到花園遊，香花聞聞透心頭，介個福氣也勿邱，下世還要做丫頭、做丫頭。阿姐阿妹噲，我裏個小姐，早要尋死，晚要尋死，虧得七位少夫人，都守在小姐房裏，勿起遊玩花園，輪流看管小姐𠵼，早要茶者，晚要燕窩者，真當活撥撥葛吃力殺者，七位少夫人勿起遊玩花園，陪得昏頭搭腦者，𠵼今朝丫頭要假扮夫人小姐，去遊玩花園。淨¹⁹³ 乃葛打扮法呢？

丫 喏，少夫人房裏個丫頭打扮少夫人。淨 打扮小姐要哭個，叫誰來打扮小姐？ 丫 嘔癩頭婆桂香打扮小姐，還有四個，仍舊當丫頭，才話嘔咚勿應，要罰銀子二𠵼。淨 介末說話要算數個，活帶勿起遊。

死得腳筋抽。 丫 活帶勿起嬉。淨 死得烏比烏比，大家打扮起來。

一眾丫環偷衣衿 桂香打扮假千金

黃頭髮挽起時新髻¹⁹⁴ 金釵一對左右分

八寶珠環掛兩邊 水粉好像石灰瓶

¹⁹¹ “認號”，石印本作“認頭”，石印本注云(第23頁)：“容易被人識別出來的特點記號等”。

¹⁹² “專”，原寫作“占”，音同而誤，今正。

¹⁹³ 下面四句都沈標的表白，故“淨”字應寫作“丑”。

¹⁹⁴ “髻”，原寫作“吉”，以意正。此句石印本(第24頁)作“黃松挽個時新髻”。

身穿綉花官祿襖 八寸花鞋足下登
手上戴付黃金鐲 好像一個白吼精
假裝小姐哭啼啼 丫 來了七位假夫人
噲，姑娘，佢爲啥哭個？ 丫 我有心事吉¹⁹⁵。 丫 有道靜坐要生悲，
何不¹⁹⁶到後花園桂花樹下去坐坐，也可消愁解悶。 丫 如此，嫂嫂請。
丫 姑娘請。
假扮姑嫂出閨門 丫 一眾丫環後頭跟
一齊來到花園內 觀看花景甚軒昂
七位少夫人看花景 丫 小姐只是暗傷心
秋天樹枝多殘敗 梧桐葉落好淒惶
想到奴的終身事 乃有心思花景賞¹⁹⁷
四面八方無心看 暗暗流淚落胸膛
一齊來到花亭上 丫 假夫人啓口把話講
嚇，姑娘桂花亭上請坐。 丫 嫂嫂們請坐。 丫 嚇，姑娘，你看桂花
盛開，請姑娘折幾枝桂花，可做蟾宮折桂¹⁹⁸。 丫 嫂嫂嚇：
奴見桂花淚漣漣 唯有奴命苦十分
有福之人做夫人 蟾宮折桂步步升
哥哥在朝爲官職 七位嫂嫂受皇恩
小妹配與廢人身 哪能爲官在朝庭
奴奴哪有皇恩受 怎做蟾宮折桂人

¹⁹⁵ 石印本注云(第 24 頁)：“吉，語氣詞。”。“吉”或寫作“唧”。唧係紹興方言的語氣詞，有不容別人多加干預語氣（《紹興方言》第 26 頁）。

¹⁹⁶ “不”，原寫作“必”。據石印本正。

¹⁹⁷ “賞”，原寫作“償”，以意正。

¹⁹⁸ 成語。蟾宮，指月亮。折桂，比喻科舉登第。

想到此處心悲切 丫 假夫人重又說原因

嚇，姑娘，你看半天鴻雁飛來，作字成對，倒也看得。丫 嫂嫂嚇：

奴看鴻雁哭啼啼 對對成雙擺字飛

成對可比兄和嫂 孤雁可比薄命人

小妹哪有成雙日 心中思想好孤淒

可憐終身不落意 不如削髮爲僧尼

說罷轉過假山去 丫 夫人啓口把話提

嚇，姑娘，海棠亭上請坐。丫 嫂嫂們請坐。丫 嚇，姑娘，你看海

棠、梨花，倒也好看。丫 梨花乃是粗蠢之花，如何對種？小姑倒要

提詩一首。丫 倒要請教，丫環取筆硯過來。丫 曉得。

詩曰：

二八佳人巧梳妝 紅顏薄命配醜郎

世上多少不平事 可恨梨花對海棠

丫 嚇，姑娘，你不愛梨花，把它砍掉了。丫 喂，阿姐，小姐正當

聰明，海棠姣嫩，比得自者，梨花粗蠢，比得沈姑爺者，梨花看勿入

眼，將伊砍掉，才話沈姑爺看勿入眼，也好砍掉的麼？丫 噲，丫頭

噲，偌道我真當要嫁撥沈標個活畜生者，皆因皇帝阿伯做媒，我出于

無奈，沈標勿來做親，不伊便宜者。丫 才話來做親，乃葛者？丫 丫

頭喏：

無奈與他兩成雙 紅綠牽進入洞房

我竟假裝三分醉 他是酒醉勿防備

我末袖口裏，藏一把尖刀，等伊來洞房，我實格殺殺殺三刀戮伊殺。

丫 咳才活戮殺者，偌小姐要守空房者。 丫 我勿肯守個好嫁撥新來個。

兩邊¹⁹⁹主婢話談講 言來語去喜非常

遊玩一番²⁰⁰進閨房 丑 沈標聽得魂飄蕩

嚇呀，且住，我來到花園察訪，只見駱氏小賤與七位阿嫂遊玩花園，只見小賤，三分像人，七分像鬼，說什麼不肯從我，倒也罷了，還要將尖刀戮死與我，嫁與新來，想新來乃是書童之輩的名字，我不免即速回家，告與阿伯爹知道，將小賤退了是者。

罵聲駱氏賤妖嬈 偌要害我命勾消

我要回轉潼關去 報與阿伯爹得知曉

嘮吶。 什 唷。 丑 我老媽勿討者，與我收入行李，回轉潼關，速速起程。 什 曉得。

什 家人奉命不留停 收入行李下船行

丑 沈標思想怒冲冲 罵聲小賤天不容

可恨妖嬈心太兇 離退小賤心放鬆

幸虧老天來保佑 還可回家見父翁

宣到此處停三回 大聚團圓下回云

千 我兒去完姻，日夜掛在心，本藩沈榮，命我兒去駱府完姻，今日不知何故，心驚肉跳，好生難解。 什 報告千歲，世子爺居來者。 千

¹⁹⁹ “兩邊”，疑有誤。石印本作“西貝”。石印本注云(第25頁)：“西貝，賈字的拆寫。賈，假的同音字。”。

²⁰⁰ “番”，原寫作“反”，今正。

什麼？我兒回來了？命他進見。 什 曉得，世子爺有請。 丑 只望去完姻，老賊他欺人，千歲阿伯在上，做兒子個拜揖者。 千 兒嚇罷了，你爲何這般光景回來？ 丑 嚇，阿伯爹喏：

那日奉命到他鄉 可恨駱賓太不良
到我公館來辱罵 他竟與我鬧一場
聲聲要把婚來退 勿肯與我結鴛鴦
孩兒打扮去私訪 他家花園去察詳
來了駱氏不賢女 又比駱賓狠心腸
他說道若還洞房花燭夜 當夜要撥我見閻王
還要嫁撥小新來 相貌醜陋不像人
葛種賤人有何用 還是快快起退婚

阿伯爹噲，看伊相貌醜陋不堪，良心兇狠，還是快去退婚是者。 千 兒嚇，你且進去，爲父與你另配如花似玉之女。 丑 多謝阿伯爹。 千 嚇，駱賓，嚇，駱賓，你有如此大膽，竟敢辱罵世子爺，且住，待我先將小賤人離退，再奏聞聖上便了。

沈榮手執無情筆 字字行行寫情節

一封退書來寫好 啓口就把家人叫

家將。 淨 喏。 千 我有書信一封，速往泉州府晉江縣駱府投遞，不要回文，速去速回，不得有誤。 淨 得令。 千 來呀。 什 喏。 千 速備行李，起道進京。

慢²⁰¹表千歲上京城 淨 要表家將在路行

²⁰¹ “慢”，原寫作“曼”，以意正。下同。

曉行夜宿無耽擱 來到泉州一座城

不日進了晉江縣 到了駱府大牆門

啓口就把門官叫 千歲有信到來臨

交代書信回身轉 淨 門官進內報事情

急忙進內，啓稟相爺，潼關千歲有書信一封呈上，來人去了，不要回

文。相 待我看來。嗟，原來是一封退婚書，且住，待我進內，與賢

者們商議，來至內堂。少 公公在上，媳婦萬福。相 嚇，賢者一旁

坐下。少 未知公公進來有何吩咐？相 非爲別事，今日沈榮有書信

到來，爲公拆書觀看，原來是一張退書，還要爲公上殿面聖。少 嚇，

公公，既是退書，就可爲憑，面聖何妨？相 對，面聖何妨？如此爲

公去也。少 媳婦們候送。相 來。什 唷。相 打道進京嘅。

慢表相爺上京城 旦 要表閨閣女千金

聞知沈標婚來退 心中暗暗喜十分

忽然想起梅花戒 要接完英到來臨

回言就把嫂嫂叫 小姑有言告知聞

嚇，衆位嫂嫂，我想完英妹妹，去接他到來，敘談心情，未知嫂嫂，

尊意如何？少 姑娘言之有理，丫環你去叫家人打轎，到楊家接二小

姐到來，不得有誤。丫 丫環曉得。

丫 丫²⁰²環奉命不留停 將言囑咐衆家人

家人備轎去如雲 來到楊家說分明

標 天標聽了多明白 進房說與女兒聽

²⁰²原無“丫”字，據石印本補。

英 完英姑娘遵父命 腹中暗暗喜十分

拜別爹娘身上轎 一路蹣蹣²⁰³進府門

丫 丫環急忙來通報 少 姑嫂一齊出來迎

二姑娘請進內堂。 英 衆位嫂嫂請。 旦 賢妹請。 英 姐姐請。

少 姑嫂謙遜坐定身 丫 丫環即便送香茗

八位姑嫂齊動問 在家大小可安寧

英 完英姑娘回言答 嫂嫂姐姐在上聽

爹娘在家都平安 奴奴也是體安寧

少 夫人吩咐忙擺酒 款待二姑女千金

丫 丫環急忙擺酒宴²⁰⁴ 衆 大家謙遜坐分賓

酒至數杯筵席散 旦 姐妹挽手進房門

打發丫環出房去 關門啓口問一聲

小妹嚇自從姐妹來分別 惟恐日反²⁰⁵兩疏情

奴有一對梅花戒 一隻贈與賢妹身

原說姐妹重相會 戒子成對兩安心

奴奴一隻今還在 賢妹一隻可在身

英 完英聽言吃一驚 姐姐問戒爲何因

心中思想生巧計 就把姐姐叫一聲

姐姐嚇只因家父少錢用 戒子兌換雪²⁰⁶花銀

旦 姣英聽說怒氣生 賢妹你瞞三瞞四不該因

²⁰³蹣蹣，石印本(第28頁)作“滔滔”。

²⁰⁴“宴”，原寫作“晏”，今正。

²⁰⁵“反”字，待考。石印本作“惟恐日遠兩疏情轉”(第28頁)。

²⁰⁶“雪”，原寫作“𠂔”，今正。下同。

怎說令尊少錢用 怎說兌換雪花銀

你今天休得來瞞我 你的戒子在我身

梅花戒子成雙對 請你自己看分明

英 嚇，完英一見魂不在 想奴乃日贈王生

因何落在小姐手 不顧羞愧問一聲

請問姐姐何處得 多少銀子買進門

旦 賢妹嚇你花言巧語來騙我 休想爲姐說真情

英 嚇姐姐小妹怎敢隱瞞，實言奉告便了。

勸姐切莫怒氣生 小妹一一告衷情

乃日家母到河邊去 遇見一位小書生

家住寧波定海縣 三字名叫王應文

今年年方十六春 十五歲上入黌門

只爲看潮身失水 浸在河中無計生

家母一見將他救 將他留住贈衣衿

小妹與他終身訂 梅花戒子贈王生

爹爹將他來背出 奴奴是望斷秋水無音信

小妹真情來說出 還望姐姐說其情

旦 你說書生王應文 那日路過後花園門

卻被我父來看見 將他留進在府門

送茶露出梅花戒 奴奴見了問其情

他將真情告訴我 爲姐才知內中情

後來家父得知情 叫他上京趕功名

奴想賢妹有福份 許配乃稱心如意好郎君

唯有姣英薄命人 不及你賢妹半毫分

英 姐姐嚇你是豪門多情女 相府門第閨千金

郎才女貌閨千金 鳳冠霞帔²⁰⁷做夫人

慢表閨閣情由事 皇 再表唐王坐龍庭

河清海晏，國泰民安。 淨 億²⁰⁸。 王 寡人大唐天子是也，自從登基以來，刀槍入庫，馬放青山，風調雨順，國泰民安，此乃一朝之洪福也，今當大朝日期，侍兒，宣放龍門。

內 萬歲有旨，宣放龍門。 淨²⁰⁹ 億。 臣²¹⁰ 臣等見駕，吾主萬歲。 王 眾卿平身。 臣 萬萬歲。 王 眾愛卿，今乃大朝日期，有事奏上，無事退班。 千 臣平西王沈榮，有本啓奏。 王 奏來。 千 臣啓萬歲，臣子沈標，蒙聖恩作伐駱賓之女，配與臣子爲室，臣子去到他家成親，駱賓不允倒也罷了，反而辱罵臣子，有賴婚之意，望吾皇降旨。

王 大膽駱賓，你女寡人爲媒，配與平西王爲媳，你敢圖賴婚姻，該當何罪？ 相 臣啓稟萬歲，非是微臣有賴婚之意，乃沈榮將我女離退，今有沈榮親筆退書呈上，請萬歲龍目觀看。 王 大膽沈標²¹¹，你完全是顛倒是非，混淆黑白。 帥 當有黑元帥出班奏道，嚇呀，萬歲嚇，沈榮父子有謀叛之心，意欲高麗借兵十萬，殺進中原，要奪取錦繡江山，現有私通反書呈上。 王 待寡人看來，呵，可惱可惱，大膽沈榮、大膽沈榮，寡人何等看待與你，你起不良之心，宣武士上殿。

²⁰⁷ “帔”，原寫作“佩”，今正。

²⁰⁸ 待校。或改寫“噫”。下同。

²⁰⁹ 此字原寫在“億”字後面，今以意正。

²¹⁰ 原缺“臣”字，據義補。

²¹¹ 沈標，應寫作“沈榮”。

什 在。王 將沈榮父子綁²¹²在殿外，本該斬首，念其昔²¹³日平西有功，從寬發落，嚴押邊關充軍，永不回中原，立即起程。內 領旨。王 黑元帥出首有功，封爲威鎮將軍，永鎮潼關。帥 領旨。王 駱愛卿過來聽旨。相 臣在。王 待等大典，挑選才貌雙全之人，招爲東床，寡人爲媒，與姣英配完花燭，謝恩退班。

相 謝主龍恩。

駱相父子出朝門 官 再表考期到來臨

考官登堂來坐定 舉 舉子紛紛進場臨

官 奉旨考奇才，舉子進場來，三場文字端，立選狀元郎，老天翰林院吉天祥，奉旨考取天下奇才，來嚇，把貢院門大開。生 嘎嘎，大開貢院門。官 生員各分天地字號。生 生員天字號。丑 學生地地寶。

官 天字號上堂領對。生 請太師出題目。官 風吹馬尾千條綫。生 對就了，日照龍鱗萬點金。官 好奇才，龍虎日看榜。生 謝太師。

官 地字號領對。丑 請太師吃牛肉。官 出題目。丑 才個才個，出題目。官 前面一隻雌雞，後面一隻雄雞，追來以追起²¹⁴，好像一對夫妻。丑 早²¹⁵死者，剛做壽生經一卷，來帶者。前頭一隻雌狗，後頭隻雄狗，好像老太師個娘舅。官 呸，文字下流，趕出貢院。丑 喂，做我實介趕出者，我三年勿來考，考場出青草，還實居起賣大餅

²¹² “綁”，原寫作“邦”，今正。

²¹³ “昔”，原寫作“惜”，今正。

²¹⁴ 追來以追起，意謂追來又追去。

²¹⁵ “早”字，據義，疑爲“找”之誤。

油條起。官 舉子文字好，上殿奏皇朝，來嚇。什 唷。官²¹⁶ 起道上朝。什 嘎嘎

官 不表考官上朝庭 王 要表唐王寫詔²¹⁷照文

萬歲御筆來親點 頭名狀元王應文

榜眼出在山東省 探花出在浙江人

生 狀元步入金堦上 臣叩君王萬萬年

臣新科狀元見駕，我主萬歲。皇 平身，殿元公見寡人因何不擡頭？

生 容貌醜陋，不敢擡頭。皇 容貌乃是父母生就，膽大擡起頭來。

生 請萬歲龍目觀看。皇 妙呀，狀元才貌雙全，寡人龍心大喜，奉旨遊街三天，狀元所奏，寡人俱已明白，愛卿爲看潮失水，多虧楊天標之妻相救，封楊天標七品官帶，義僕王德扶養愛卿有功，欽賜八品官帶，卿妻楊氏完英封爲二品淑德夫人，朕爲媒駱賓之女，駱氏姣英，配與狀元爲室，封爲一品淑德夫人，卿父母身居極品，愛卿祭祖歸家，奉旨完姻，事畢來京受職，謝恩去罷。生 萬歲萬歲萬萬歲。

狀元謝恩出朝門 心中歡悅喜非常

多蒙萬歲爲月老 駱氏姣英配成雙

上京得中爲魁首 奉旨祭祖轉家邦

不表狀元回家事 相 提表相爺把話講

將情說與衆人曉 淨 闔家歡悅喜非常

相 內邊家人聽着，你們速備轎子去接楊天標夫婦到來。

什²¹⁸ 嘎嘎

²¹⁶原缺“官”字，據義補。

²¹⁷“詔”，原寫作“照”。石印本作“君王傳旨宣詔文”（第29頁），今從之。

淨 家人奉命去如雲 來到楊家說原因

標 天標夫婦多歡喜 夫妻雙雙就起程

行來已到相府地 相 相爺即忙出來迎

標 相爺在上，楊天標夫妻叩頭者。 相 不敢，請起。 標 相爺呼喚

楊天標夫婦進府，有何吩咐？ 相 相爺把前後情由細說一遍。 標 天

標夫妻聞言，好不歡悅人也。

難得皇帝做媒人 阿囡配與狀元身

多蒙相爺來擡舉 接我夫妻進府門

揀定黃道並吉日 一同送親去完姻

不表送親情由事 生 再表狀元到家門

淨 報王伯伯，相公得中頭名狀元居來者。 外 胡說。 淨 真當居來

者。 外 有這等事來？真真謝天謝地，待我前去看來，來至高廳，相

公在上，老奴王德叩頭。 生 老人家請起，難得你忠心義膽，老人家

受小生一拜。 外 嚇，這是使不得的，豈非要折死老奴了？

相公作別到如今 老奴在家好傷心

總道今生難相會 誰知今日又重逢

相公嚇何人前來相救你 老奴跟前說仔細

生 狀元即便回言答 就把王德叫一聲

應文就把情由訴 一一從頭說分明

自從看潮來失水 在潮滾入泉州城

多蒙楊媽來相救 與他女完英訂終身

²¹⁸原缺“什”字，據義補。

後來進入駱相府 內外出入書童稱
多虧駱相爺來盤問 我將真情說他聽
相爺聽了多歡欣 贈我盤費上京城
考試得中第一名 奉旨祭祖轉家門
虧你一片忠心義 你是我家大恩人
不表主僕來談講 什 家人進內報事情
啓報狀元老爺，外面文武官員齊到，有名帖呈上。 生 吩咐下去，叫
文武官員回衙理事，請定海縣鄭大人進見。 什 是，大人吩咐下來，
文武官員回衙理事，請定海縣進見。 生 父台請，晚生有禮。 鄭 不
敢，狀元公呼喚卑職有何貴事？ 生 請父台潮神殿代爲非心修理，完
畢之後，待晚生拈香。 鄭 如此領命，就此告退。 生 候送。 鄭 打
轎。
知縣告別轉家門 吩咐工匠修殿庭
不多幾日已修畢 生 狀元上殿了還願心
祝告已畢回家轉 什 家人重又報事情
報，駱相爺與楊老爺、太太送小姐到。 生 大開正門出外迎接。二位
岳父母請。 標 狀元女婿大姑爺請，咳，人人都說狀元生得好，仰我
來瞧一瞧，喂，葛家主婆，我看葛個狀元老爺好像舊年頭八月裏個鳳
陽婆呢。 丑 偌個老冤家個眼力才好。 生 內邊家人聽着，上掛燈結
彩，下紅毡鋪地，點起龍鳳花燭，傳儋相²¹⁹。
賓 來者來者。我做賓相，喉嚨²²⁰勿響，看見魚元²²¹兩隻眼睛殺亮，伊

²¹⁹儋相”，原寫作“賓相”，今正。下同。

²²⁰“嚨”，原寫作“龍”，今正。

話半斤，我話八刃，伊話桐瀘，我話浦洋，伊話銅冲，我話烏槍，伊話財神，我話壁牆，大家要硬長²²²硬長，介末我來讚²²³禮者。伏以水上一對金雞浮，鳳凰一對結鸞儔²²⁴，山水相逢同羅帳，一夫兩婦樂悠悠²²⁵，賓相好言讚紅妝，三請駙馬入華堂，請拜。

生 四拜天來四拜地 回身四拜祖先堂

再拜堂上老大人 牽紅移步入洞房

光陰迅速容易過 旦 兩位夫人產兒郎

每位夫人生一女 又有兩位公子郎

慢表得子情由事 旦 姣英夫人把話講

嚇，賢妹，想奴萬歲爲媒，錯配沈標，總是前世宿債之故，受了多少磨難，如今我看破紅塵，以修來世。完 姐姐，小妹早有此心，不如一同修行。正說之間。生 狀元步入內堂。嚇，二位夫人講些什麼？

旦 嚇，相公，想是爲人之苦也。

可嘆爲人不肯修 受苦受難變骷髏

爲人可比三春草 作惡行兇不到頭

奴今看破紅塵界 奉勸相公早早修

生 狀元即便回言答 下官任滿回家修

狀元任滿歸家，夫妻三人，依歸同修。標 楊天標夫婦，見兒婿們修行，也覺回心轉意，同修佛道，壽數已盡，無疾歸天。生 狀元如親

²²¹魚元，義未詳。

²²²硬長，義未詳。

²²³“讚”，原寫作“贊”，今正。下同。

²²⁴“鸞儔”，原寫作“鸞綢”，今正。鸞儔，即鸞鳳儔，指夫妻。

²²⁵“悠”，原寫作“幼”，疑“幼”之錯字。悠與幼，音近而誤，今正。石印本作“東西謙遜樂綢繆”（第31頁）。

治喪，殯殮安葬歸山，夫妻三人修到三十年後。**神** 太白星君接到王旨一道，聽喧讀詔曰，今由王應文是文曲星下凡，投入紅塵，駱氏姣英、楊氏完英，是月宮仙女下凡，投入紅塵，勸夫修道，同歸原位，兩位公子，出仕爲官下去公侯之位，蘭桂芬芳，雙英寶卷前後四回，恩怨分明，忠孝雙全，大聚團圓，拜謝皇恩天地也。

雙英寶卷宣完全 月再圓來花再鮮
應文是個文曲星 大罵潮神有牽連
兩位夫人月宮女 墮²²⁶落紅塵受熬煎
後來勸夫同修道 仍作嫦娥月裏仙
留下兩位賢公子 也是唐朝伴君前
駱相後來善心堅 修功圓滿上西天
王德蒼頭多仁義 壽高歸天好安眠
天標夫婦後修道 無病無疾升西天
沈榮父子多陰險 邊關充軍實可憐
阿彌陀佛多念念 勿費工夫勿費錢
一言能積無量福 千金難買子孫賢
不信但聽雙英卷 不成菩薩也成仙
今日宣部雙英卷 一年四季保平安

²²⁶ “墮”，原寫作“隋”，今正。

双英宝卷初展开

善男信女虔敬听

恭闻双英宝卷名曰梅花城

出在大唐永徽年间

提表浙

江省宁波府定海县却就一人

小生姓王名应文在年二

父家建贵在日官居首相

少系张氏浩受皇封不辜双亲

去世单生小生入奉喜身入洪门

这也不在话下且喜家财豪

田因大闹小生志老不能上达

半烦闷想合那月是八月十八

大潮日期不免去江边看潮一面

待家与王德说而去意那里

恭请神下降坛前

增福延寿永元灾

增福延寿永元灾

增福延寿永元灾

增福延寿永元灾

增福延寿永元灾

增福延寿永元灾

增福延寿永元灾

增福延寿永元灾

增福延寿永元灾

增福延寿永元灾

增福延寿永元灾

增福延寿永元灾

应文进了潮神庙

现看神前多供奉

潮神菩萨何灵志

内中必定有缘古

商祝那里来者

相公何道出来有何吩咐

回你潮神大王有何灵验

百姓们因何如此敬敬

相公潮神大王十分灵验

求男得男求女得女故而善男

信女都来叩求拜跪

有这善男来哩可恼想神

明也贪人愿非是真神也

只所男女许多言

人许愿与求子

尽是泥塑木雕全

法出商祝同祝因

法出商祝同祝因

法出商祝同祝因

法出商祝同祝因

法出商祝同祝因

法出商祝同祝因

法出商祝同祝因

法出商祝同祝因

法出商祝同祝因

法出商祝同祝因

家意欲登斗江边看潮一面叶相公该不该才好想相公未曾
见过潮况且是日移河上房就去看斗也俊得须至早去早
回免致老奴在家悬念这字自然王兴就家往江边一主嘴嘴着
① 应文移步出门庭 ② 王兴书童随后跟
路上行人多热闹 人挨人挤闹盈盈
③ 老人扶杖境主 ④ 年少力壮向前行
不觉来到大江边 ⑤ 书童店口把活沅
喂相公江边斗看潮时辰还勿外倘若潮神度去游玩
才话潮兴起来者家令来吓吓尔 ⑥ 如此你在此等候
家斗商内去游玩一看便了 ⑦ 吓

应文进了潮神庙 只所男女许多言
现看神前多供奉 人许愿与求子
潮神菩萨何灵志 尽是泥塑木雕全
内中必定有缘古 法出商祝同祝因
商祝那里来者 法出商祝同祝因
相公何道出来有何吩咐 法出商祝同祝因
回你潮神大王有何灵验 法出商祝同祝因
百姓们因何如此敬敬 法出商祝同祝因
相公潮神大王十分灵验 法出商祝同祝因
求男得男求女得女故而善男 法出商祝同祝因
信女都来叩求拜跪 法出商祝同祝因
有这善男来哩可恼想神 法出商祝同祝因
明也贪人愿非是真神也 法出商祝同祝因

14

应文所祝气咆哮

两太阳中火直冒

官府貪極該有罪

小生有日功名就

管叫泥身未拆毀

正在廟中幸遇怒

恨相公：潮來者快，看潮起者

潮以所再未訓誨與你

也是无用了

主仆双：出廟門

不表在文看潮至

手執生死簿坐起攝魂

何神神聖掌天曹

就將此王奉當朝

又將大旗火未燒

王共老童呼看潮

那神吓那神待來看

吟相公伊家泥塑木雕尔

吓唬才多讲家们看潮去也

相看潮头幾層

提表神聖是感其

提表神聖是感其

手執生死簿坐起攝魂

13

站立江邊未觀看
看又一阵狂風起

曼表潮神排定

吾君潮神是也奉玉帝勅旨執掌三界上管凡雲雷雨中
祭水府神祇下洵民間禍福夫妻姻緣這也不在話下今
有王在文在吾度下聚湊吾神定才可略若不显圣他那
晚吾神靈驗吓想王在文乃是文曲星君下凡他的姻緣
落在福延泉州府不免喚出在文看又何在在神今有
王在文乃是文曲星下凡你將他財潮第斗福延泉州府
晉江縣地界多落沙滩不准傷他性命速來復旨令

再表王生王在文

遠望潮头白如長

將他吹落江中心

11

在文才在波浪內

王共喘喘魂已散

吓吓者：岸上众位叔：伯：吟：家重相公番落海里者

被潮水冲得起者求：众位大叔救：若还救起重有賞

吓吓者：大江之中涉浪淘：如何救得：救勿起了

王共喘喘哭占回是

一經未外府門首

王伯：勿好者：為何相公看潮被潮水冲得起者

你待怎讲相公被潮水冲得起者

波浪滔流不知悔

救命：吓連声

吟：家重相公番落海里者

被潮水冲得起者求：众位大叔救：若还救起重有賞

吓吓者：大江之中涉浪淘：如何救得：救勿起了

王共喘喘哭占回是

一經未外府門首

王伯：勿好者：為何相公看潮被潮水冲得起者

你待怎讲相公被潮水冲得起者

12

第王共往前行

一路啼哭并江边

12

果然吓的王伯：办醒

听得此言魂胆惊

曾记相公托咐家

不该今日看潮去

谁知看潮起福端

王伯看火何人接

思想性由心悲泣

且住想相公身仍潮中待家去并江边收其尸首归

相公淹死好伤心

叫家托养小主人

皆因老奴少主心

主仆頃刻两离分

老奴枉带一片心

啼哭：哭：叫主人

現看戶省元踪跡
你好在某家去邊

心中好似滾油煎
早晚看潮傍黃泉

哭累元奈回身占

早供茶飯在供水

不表王德老頭了

進廣報與大主曉

不表浙江潮神了

一生元注計

潮退退大家利魚起

家叫王德三唱阿哥今朝是

一一生元注計

潮退退大家利魚起

家叫王德三唱阿哥今朝是

今朝是
大朝汛

今朝是
大朝汛

今朝是
大朝汛

今朝是
大朝汛

今朝是
大朝汛

今朝是
大朝汛

今朝是
大朝汛

今朝是
大朝汛

今朝是
大朝汛

今朝是
大朝汛

今朝是
大朝汛

今朝是
大朝汛

今朝是
大朝汛

今朝是
大朝汛

今朝是
大朝汛

今朝是
大朝汛

潮退退者何潮退魚起者
好阿哥來扎個像起搖

船阿哥對面匯水坊里有
大旋窩帶一定有大魚冬

這家來扎一網來帶者着
力捆起來喂阿哥勿對勿

是更是人阿哥用落起
阿哥有句話人命美天

才話好歌伊活來能造福
代代家看伊人手里了肺

未第跳來伊不伊沙灘里
起拖起吼

把伊拖起沙灘一定為活
了拖來拖起帶者伊還是

再再柯魚起

不表親人柯魚起

再表應文來蘇離

再表應文來蘇離

再表應文來蘇離

再表應文來蘇離

再表應文來蘇離

再表應文來蘇離

再表應文來蘇離

再表應文來蘇離

再表應文來蘇離

再表應文來蘇離

再表應文來蘇離

再表應文來蘇離

再表應文來蘇離

再表應文來蘇離

再表應文來蘇離

再表應文來蘇離

且住想家身上尽是咸水
泥沙看前面有條淡水河

看四下無人待家將衣衫脫下
趁著紅日當空將衣衫晒在

橋上寄身晒燥穿著再走
待家來脫下衣衫便了

應文即使脫衣衫晒在橋
邊去洗手

不表衣來未洗手卷中另有
不良人

不表衣來未洗手

不表衣來未洗手

不表衣來未洗手

不表衣來未洗手

不表衣來未洗手

不表衣來未洗手

不表衣來未洗手

不表衣來未洗手

不表衣來未洗手

不表衣來未洗手

不表衣來未洗手

不表衣來未洗手

不表衣來未洗手

不表衣來未洗手

不表衣來未洗手

家在手波把潮看

莫非家把潮神罵

將家滾到泉州地

双膝跪在尘埃地

伴依弟子回家否

因何家拜福進城

難道神聖是感靈

神聖保佑命曲存

深四拜告神明

重修廟宇修家金

家在手波把潮看

莫非家把潮神罵

將家滾到泉州地

双膝跪在尘埃地

伴依弟子回家否

因何家拜福進城

難道神聖是感靈

神聖保佑命曲存

深四拜告神明

重修廟宇修家金

家在手波把潮看

莫非家把潮神罵

將家滾到泉州地

双膝跪在尘埃地

伴依弟子回家否

因何家拜福進城

難道神聖是感靈

神聖保佑命曲存

深四拜告神明

重修廟宇修家金

家在手波把潮看

莫非家把潮神罵

將家滾到泉州地

双膝跪在尘埃地

伴依弟子回家否

因何家拜福進城

難道神聖是感靈

神聖保佑命曲存

将身未斗河堆心
心中发慌红着脸
只身男儿水中浸
慌忙回占店堂门
走云妈：因何因
阿因借淘米洗其奈高唤者
少奈外面有这了
了个河沿头淘米洗其并勿起
屁股朝河里脸孔红一阵
白一阵
实个五带咚
难道米会滑白了
其会滑清爽了
少奈外面有
有舍个东西咚
做娘个来看
苦吓
吓有
吓了个贼骨头
若米白条
莫别家个河堆头浸带咚
未收则舍
难怪吓的
逃进来者
家个太婆都难看
吓妈：小生一言难尽
吓妈：未收摸面眼
吓妈：言难尽

介借道话：看吓妈：吓
妈：在上所阮因
家住浙江宁波村
爹：名叶王建贵
爹娘不生多男子
今年：方十六春
妈：店口未初问
你光着身体为何因
小生：一告知因
是海县内王家门
官居极品在朝廷
单生小生一个儿
三字名叶王建贵
你光着身体为何因
小生：既熟你是宁波定海县人氏
又是官家之子
怎么会
来斗福延呢
吓妈：有就未知
只因家看潮失水
洗尽衣服晒在桥上
被贼个偷去了
还望妈：发慈悲

相般与家：日后图报大恩
介未依来带
多谢妈：吓妈：想因老个野猫
过世究得跟皮个有者
家有件古老个代个海青咚
样不完得家条布裙
吓伊
吓：家还有一双闹堂鞋吓伊拖
吓者：吓河因
吓：河堆头实个牢相个公个做娘个
五起敢得起来者
究得
救带进来吓伊鞋里生
吓：少奈房中
家个房里万
家穿进穿出来
走走
还是斗借个
房里起坐
女儿
房中如何使得
吓因吓做好个怕伊舍
吓家起救得进
未是者

妈：舒衣外河沿

摇头在后生面

即店店口把屋叫
吓妈：穿衣进内边
吓小后生吓可切得冬
立起来实难看个吓家条布裙
繫带冬
海青披带冬
鞋个拖带冬
多谢妈：吓妈
站过一边
小生上岸来了
吓文上岸侵穿衣
吓妈：未行走
进门即侵吓施礼
吓：在上小生拜揖
相公勿散
吓河沿里浸得冷个吓者
快斗吓河因房里坐
个息家搬个饭来
吓吓吃
吓落：好走
多谢妈
吓妈：说罢到店堂
吓妈：王在文移步入内房

只見擺設多雅
兩邊四把象牙椅
上方一張春台高
西施溪水把紗梳
心同醉沈楊貴妃
一付對聯分左右
寫得落花生
楠木板台圍前擺
桂花床裏就羅帳
良辰美景儘全收

四面三掛斗方
楠木几分兩旁
四大美女掛中堂
貂蟬拜月兒好嬌
昭君不嫁好連理
古人提詩有名堂
右寫一舞蝶成雙
紫松鏡架水磨光
白銅條句掛香囊
鴛鴦花枕邊芳芳

在文看書多致
滿房擺設不尋常
吓妙外道通平常之家
沈末擺設如此雅雅且佳
有現成衣帳在此想家身
子困倦不免待下帳
定睡片刻便了

在文定睡養精神
半暗：喜十分
要表書生安睡可
再表楊媽呵完英
阿國今晚四盞一湯
沈一盞飯一桶
依擺得進起
仰伊吃得好走
女兒不去
做好了怕伊
舍阿完賴娘吟快
未收銅錢者
咄阿國嘴快
搬得進去
做娘了
玉斗店堂里收銅錢起者
媽：說男走每
完英送飯滿臉紅

無奈搬進房中
只見男像未放下
奴也不顧羞和耻
相公起來請用沈飯
吓大姐：小生多失礼了
好說
在文想身坐床沿
今日小生多失礼
多亏媽：未相救
吓大姐：小生多失礼
奴家有礼奉還
請問相公府居何處
尊姓大名
乞道其詳
大姐問道
不見書生玉相
想必安睡奴床中
免嫌起口叫相公
吓大姐：小生多失礼
相公是位大姐
只見大姐美齊顏
身子困倦在床眠
又驚大姐素心回
尊姓大名
乞道其詳
大姐問道

家住浙江省
字浪村內
家貧：王廷貴
雅生家
十六春
只因爲
去看潮
不傷殘身
蒙蒼天
親身比
難報你恩
云大姐
送沈飯
吓大姐：雅生多失礼
相救承蒙大姐送飯
此恩日後
圖報
請問大姐芳名
方才救我的乃位恩媽
是你大姐何人
相公問道
完英姑娘說
就相公叫一聲

此身勿禁燒者，都不為事，風雨望光，家今朝勿
未打噴也，勿未驚嚇，家門外有山，高夫老處，未收作机
仰家未背，得伊起，個老處，起未累者。

楊天標，拉任，風雨望

上前一把，崇：拖

將伊背，出房門外

高夫大，留老，乞邊

房里，美，海，風，雨，望

偏：做，弄，家，老，家

急：忙：背了去

楊媽：見，泪，如，梭

完，莫，此，刻，難，分，檢

有口，難，言，沒，奈何

暖王：王：吓，阿，因，介，話，了，寧，相，公，子，不，當，老，婦，家，當，風
雨，婆，背，身，有，山，高，夫，老，處，起，者，做，娘，子，正，當，肉，痛

朱者，倘，若，傷，了，性，命，家，以，主，帶，做，妻，子，者，吓，以，葬
吓，王，生，暖：一

完，莫，姑，娘，泪，紛：一

有口，難，言，說，不，清

王，生，若，有，長，短，短

奴，家，終，身，靠，何，人

家，与，王，生，終，身，訂

金，娘，万，里，金，知，情

但，愿，蒼，天，永，保，佑

再，表，天，標，上，山，林

不，表，弟，莫，心，悲，泣

再，表，天，標，上，山，林

暖斗者：一，按，若，未，帶，個，老，處，家，五，路，山，起，者

金，与，娘，因，道，理，評

怒，气，冲，天，出，家

相，有，妻，子，下，回，方

以，耳，以，處，行，頭，回

14

③ 高，別，家，多，有，數，句

未知，何，日，返，家，庭

小，生，王，應，文，身，流，是，海，是，人，氏，自，以，乃，日，看，潮，失，水，漂，斗

比，地，誰，知，衣，衫，鞋，襪，被，賊，人，竊，去，多，云，媽：相，救，与，家

身，上，穿，了，女，人，衣，服，坐，在，一，間，与，弟，莫，大，姐，私，訂，終，身，楊

天，標，將，家，錯，認，風，雨，婆，背，身，以，山，喜，得，机，美，未，露，不，然

性，命，難，保，看，高，機，不，近，待，家，下，山，考，吧，吓，且，住，想，家，身

无，分，文，如，何，是，好，只，得，去，斗，街，坊，沿，街，求，乞，待，斗，有，了

銀，子，就，可，回，家，家，未，此，已，是，十，字，街，口，前，去，求，乞，便，了

王，應，文，移，步，回，家

腹，中，飢，餓，好，難，禁

行，走，未，到，十，字，街

只，得，跪，地，求，善，人

喜 升者升厂老周们
保佑 市门顺利得平安
保佑 四面贵人相照应
保佑 生意兴隆多获利
喜 响着念佛太三们
保佑 福也增来新也端
保佑 眼目明亮脚手健
喜 贤良好心大娘们
保佑 救：家度之港雅人
保佑 早生桂子跳家门

发财铜钱丢几文
顺风顺水得太平
八方财宝进门庭
一年四季赚黄金
慈悲铜钱丢几文
寿比南山不老星
福福满堂雨燕
贤德铜钱丢几文
夫妻和睦情义深
白头到老福寿增

13
喜 漂三亮：姑娘们
保佑 有福有寿多福份
喜 年有力壮叔伯们
喜 救：家宁港雅人
喜 读书赶考佳：们
保佑 连科高升步步进
保佑 做中夹干下接班人
保佑 增福进寿保良生
喜 种田下地叔伯们
保佑 身体健康福寿增

加班铜钱丢几文
配个老同做夫人
年苦铜钱丢几文
保佑 一年四季赚黄金
聪明智慧铜钱丢几文
大学考进稳智定
新年进步路门庭
一家团圆笑盈盈
年苦铜钱丢几文
田纪年：好收成

今日家讨清铜钱好
喜 喜男半女好寿
不表在文性因多
不如意子常九面与人言无三三老夫路安官拜首相
执掌朝纲夫人李氏生七子一女孩儿具在朝中为官
七位媳妇在家：家女嫁英在年三八当初万成为媒：许配
潘美沈荣之子沈标为室如今潘沈标丑陋不堪而
且倚势横行夫人周知沈标有身亡：家女总日
啼哭不止一为娘亲亡故二为错配婚姻：家女自尽
多言七位贤媳解劝为比老夫无心得：家女还乡

12
思想起来好不忧屈人也
相爷同坐在书厅
害得夫人身亡故
不该将他来错配
想 虽然他父是千岁
本该将他婚来退
幸亏贤者多救核
进退两难真无奈
心中思想多烦闷
喜 喜家女儿总日烦闷不乐：家女总日与他解解清闷
只为女儿错配来
害得女儿哭悲疼
如今改悔也无门
急势横行不成文
违逆圣旨罪非轻
终日解劝女儿身
因此告假占家门
喜 喜生巧计把话说
喜 喜家女儿总日烦闷不乐：家女总日与他解解清闷

何是云不免叫了环出来与他解愁消闷为妙众了环乃里
①来者：太师在上众了环叩头起来①叫了环出来有
何吩咐①非别了你们进去以得小姐一笑看厮子一及
①西笑呢①就是三及①三笑呢①三及①十笑呢①就是十及①倘
若小姐笑将冒口开者嘴也笑将闭勿弄者太师惯良
子多少者①促小贱胡说了①小姐呵妹吟太师在悉乱
者呀大家还笑哄小姐起笑起①吓大家走吟
一众了环往内行①前去哄笑弄千金
不表了环往由了①提表短更更悲啼
绣阁看深深昼日良佳人无惹绣地央奴家路内笑美

年方六岁①路实催拜首相少来李的不幸去世
心位兄长在朝伴驾嫂①们在家十分贤德这也不在
话下想奴终身由万岁为媒许配潘光沈千岁之子沈
标为室用着他相貌①道理全无依势横行奴的
终身如何是好①思想起来好不伤心人也
奴莫小姐暗伤心
可恨君王太无理
沈标为人全无理
倘若日后来迎娶
本欲早来伤心
心位嫂①功奴身
奴之命运苦七刀
将奴错配沈家门
况且丑陋不成文
叫奴如何做人
心位嫂①功奴身

苍天为何作弄人
思想想心关闷
奴莫姑娘心悲泣
姑娘来见礼①众位嫂①小姐有礼奉送①沈生吓姑娘
见你闷①不乐何不去弄花园游玩一番以消闷怀况且园中
百花齐放桂花盛开十分清幽①沈姑娘现看花景意
下如何①嫂①欲去游玩小姐当消停停①如此姑娘说
嫂①沈了环前面引路①吓沈将者
姑娘移步出园房
一亦来弄花园内
一众了环走清忙
沈看花景甚舒舒

心位嫂①现花景
想弄奴①终身了
秋天树枝多残败
将身行弄花亭上
吓姑娘花亭上①沈生①们沈生①吓姑娘你看桂花十分
茂盛①沈姑娘排几枝桂花可做簪富样①吓嫂①呀
如见桂花泪涟涟
有福之人做夫人
哥①在朝为宰相
小姐配与度人身
京奴若是暗悲恸
那有心思花景情
梧桐叶落好凄惶
夫人店口把话讲
吓姑娘你看桂花十分
难有奴命苦十分
糖蜜折桂步升
心位嫂①要皇恩
万能为官在朝廷

花園各位夫人小姐相爷来着景道着曰什么公之来了
亲们迴避了吧姑娘注④

不表姑嫂回房去

再表相爷回房

行来已拜花園門

举目抬头看分明

一見此人心疑

男扮女世为何因

书童⑤

吓且住听他口说相爷凉凉朝一品想家也是宰相

公子如此形状

倘若真挂说发也不惭愧不如哄他一

哄来比因門吓相爷叫难人转来有何吩咐

为别又想你男子扮作女子敢是哄同心是何道理

只为此步過榜人
賣与陈府做书童
主人取家命或生
男扮女装去逃生
还望相爷恕罪名
腹内暗：自思付

③店裏相爷难人一言奉告

相爷是难人哄人心

将家隔斗貴多地

只为玉腕来打碎

多易饭媽：未釋放

难人句：真性活

相爷听了言和語

乃相爷把比人上下打量一番心中暗想他男易扮女装举子

行功穩重出言吐語文雅老夫十分喜欢便道想你家

主人气量太小一方玉腕打碎就取你一碗想别人

道你未历不明老夫斗不怕你的主人主父你不如在家村中
做一老童你道如何⑥难人恩付回話且住想家也是

宰相公子况且洪門考士也肯与人考作书童但家一

通希金元二则衣衾沒有待家有了通希衣衾再作

计较便了吓相爷既家抬舉元不遵命⑦未知家

多少文布⑧相爷怒稟

相爷你且听分明

賣身文契家不寫

身价不交半毫分

相爷听说未竟

伏望相爷勿怪

待家与他取家字把他取家书来好从今后就吓你书来

不分内外进书好生服侍以后老夫重有價⑨多謝相爷

书童⑩命你領了书来斗书房改換衣衾进内去見過

比位少夫人与小姐曉得书来哥过家来⑪是书了

书童領了进书房

了环听了多明白

将身进了闺房內

今朝有伴书文了

特来禀告女奴

⑫环有什么书文了

是书婆家了书公⑬什么他是男的吗⑭恩系里相爷

问伊伊話是陈府书童只如玉腕打碎手是將伊衣

新來那忙跳墜坐
低下頭來暗尋骨
七位夫人都印過
公道冤冤冤冤好
小姐花容多絕色
印見七位少夫人
見他印了貌越群
當中再印五千金
更比楊氏胜几分
亦知金蓮有尺寸

低下头来看灵境

妙吓
好似一对水红菱

新来叩头身不効

① 吟旁边了环喝一声

吟詩未哥，係為啥磕頭連帶叩令叩了。奈未哥不係數
則三叩滿十六个半。吓大姐怎么会有半个呢。咳剛：
五磕落起者，系以萬响得声，按係杯得半个。吓大姐想
七位少夫人時常可見，乃小姐在香閣綉綉，難得見的，故以
系多叩几个。介未係正堂叩咚……小姐胡說叫他出
去。吓小姐已發惡亂者，奈未哥好走劣起者。是吓
姑娘見奈未哥重文重彬，相貌非凡。吓嫂：奈家有
這樣的俊秀，為童弟，光門主人面面上也有多少光彩。

吓姑娘吓

奴見新來貌傾城

不像書童另有因

舉子端方多穩重

好似途中落泊人

用言便把了环时，

你且听我说死因

了訴你取良子十四双松江小布七疋賞与就奉。囑令取

未會外第此草屬重記者係西院將也

女以世也。新元無星。楚老。古語。村以楚。新表。日。旁。畏。新未。爾。見。知。者。生。有。和。華。不。三。五。人。組。料。妙。

莫非小姐家有什么^事 老爷家息了 小姐则金若

萬寧吳少夫人饋僕昆子十四双松江祚也延諸萬寧吳

小姐償償了良子西双纺欄兩足喏抱得起。想償總底生家勿可浪吃浪用。去做人家些了。⑤ 这个自然。还望二位大姐与叔代谢少夫人与小姐。⑥ 谢才总受附者。⑦ 吟新来哥。惜今年几岁者。⑧ 一十六岁了。⑨ 介来惜新来嫂。⑩ 讨勿讨哩来。⑪ 没有。⑫ 介来何来拉借做媒者。⑬ 休得取笑。⑭ 看伊个大年纪者。还怕羞带来。走为速起者。⑮ 外还是回禀夫人小姐知道便了。

曼表字鳳尊小姐

④ 與表者產王亦文

本該收入國家考

難捨小姐千金

按下應文來看

④再表潼关段佳

受受留機心不守。未幾何日坐九庭。產滿沈寐。奉旨
平西有功。蒙恩封。平西王。之職。永鎮潼關。意不
服。欲逐其父。皇奇取解。誘以。如今差。皇九弟。拉
高。前備兵十萬。前來放打。至今。借兵。未回。好生。相。金
這且不。本。滿。單。生。子。取。名。沈。標。乃。年。上。為。媒。是
福。遠。泉。村。者。江。是。駱。突。之。女。名。曰。收。英。配。與。家。兒
為。妻。想。乃。駱。突。有。七。子。子。女。朝。為。官。如何。是好
腹。有。子。不。免。叫。家。兒。去。拜。他。家。完。其。花。燭。日。后。共。其
之時。亦有。四。助。之。力。有。道。自。必。顧。自。舒。必。好
本。滿。何。愁。大。子。不。成。來。喃。喃。時。后。堂。世。子。布。衣。來

世子亦有法。未者。忽。所。堂。上。時。眉。目。別。跳。若。還
未。近。到。五。時。果。子。泡。平。西。王。何。伯。家。在。上。做。倪。子。子。拜
揖。者。呢。吓。里。久。一。旁。坐。下。咳。何。伯。家。做。倪。子。向。家
蹲。椅。子。子。萬。息。毛。衣。薄。帶。者。何。伯。家。嗔。叫。倪。子。出
未。有。舍。在。方。哈。比。方。叫。你。非。為。別。不。為。父。叫。你。非。福
延。泉。村。者。江。是。駱。突。之。女。名。曰。收。英。配。與。家。兒
父。不。怕。大。王。不。成。子。好。子。誰。游。家。里。子。長。子。何。伯。家
才。話。做。皇。帝。做。太。子。者。早。未。能。能。家。好。做。皇
帝。者。有。皇。多。說。未。喃。喃。時。后。堂。世。子。布。衣。行。是

千。笑。吩咐。此。提。沈。世子。帝。帝。喜。德。
千。笑。重。又。升。高。說。此。下。為。父。有。言。說。情。由。
吓。吓。你。以。去。駱。村。招。來。他。家。用。多。須。至。國。意。外。須。至
謹。慎。牢。記。住。有。數。者。家。人。喃。生。服。侍。世。子。帝
回。未。有。有。價。就。得。何。伯。家。係。放。心。做。倪。子。子。拜。別。去。者
吩咐。板。板。搭。跳。志。至。搭。船。起。者
世。子。即。使。就。登。皇。
吩咐。此。手。好。弄。船。將。起。張。大。江。蓬
發起。一。天。大。順。風。不。覺。來。身。家。地。
房。在。子。帝。是。時。斗。者。不。言。帝。斗。者。將。船。行。目。林。家。上。岸

吩咐。吩咐。何。前。去。遊。玩。一番。曉。得。曉。泉。村。果。然
好。一。片。繁。華。景。致。也。
世。子。帝。上。街。坊。因。是。清。明。話。不。盡。是。村。村。繁。華。一。片。
走。大。街。穿。小。巷。子。外。井。而。這。路。忘。年。數。時。似。天。仙。
進。茶。坊。并。沈。樓。合。群。法。天。只。見。石。西。街。上。粉。黛。之。烟。
一。路。上。未。行。走。以。吹。柳。舞。有。几。間。高。大。樓。樓。樓。眼
且。佳。美。此。地。有。几。間。高。大。房。屋。未。知。何。作。能。吩咐。吩咐
不知。這。人。家。了。房。屋。系。世。子。帝。意。欲。至。做。何。能。吩咐。吩咐
里。面。有。有。公。未。者。你。身。未。何。多。哈。哈。人。家。能。這。几
間。房。屋。而。省。租。作。能。可以。租。得。你。同。他。什。少

家里湮英世子爷外院村以家传的房產至租用數
月。每月租金多少。①說然。是路村資奉。就不用講房
金。法世子爺前來安寓。②在世子爺房。主言道。路村
資奉。勿用講房金。法世子爺安寓好者。③囑咐。將
行李搬進起是者。④曉得。囑咐。想家未外。比地本
至。若拜親老路。想係。元非。是。子。家。相。亦。是。子。子。爺。
難道。亦。世。子。爺。起。拜。望。伊。更。有。者。⑤難。為。伊。家。亦。子。丈。人。
所。伯。亦。就。用。名。帖。子。囑。咐。⑥囑。咐。起。通。報。一。聲。叫。活。
世。子。爺。外。者。唯。名。路。校。亦。早。以。做。家。拜。堂。勿。得。有。
誤。⑦唯。曉。得。者。

家人奉命不覺是
一路行程无担担
手厨名帖往前行
不覺亦外路村門
門上可有人在。①來。是。是。乃。一。子。望。你。門。准。前。多。通。報。相。爺。
亦。奉。府。湮。英。世。子。爺。之。命。前。來。你。路。村。資。奉。有。
名。帖。呈。上。②唯。曉。得。者。
家人接帖。③進。內。
以。斗。只。外。行。事。奉。
東。家。相。爺。得。得。
與。我。物。各。下。面。所。

前蒙聖恩作冰人。誰知家女不嫁心。
老夫路英。只為家女終身錯配。聞得沈叔礼之金元相親。
並。願。亦。女。心。中。不。服。日。夜。啼。哭。皆。因。金。元。為。媒。劣。子。元。余。被。后。
相。令。湮。英。世。子。爺。外。者。往。在。西。街。公。館。有。名。帖。呈。上。①待。家。看。
未。曉。吓。他。竟。不。來。拜。望。老。夫。好。生。理。理。且。住。待。家。前。去。
看。他。相。親。性。形。如。何。言。之。有。理。未。②囑。咐。打。新。公。館。③囑。咐。
相。爺。打。新。往。街。坊。④去。外。公。館。看。性。常。
行。未。已。外。公。館。首。⑤家人。即。使。報。子。帖。
門。上。乃。在。是。乃。一。子。路。相。爺。前。來。看。望。世。子。爺。有。名。帖。
呈。上。相。煩。通。報。⑥候。着。店。世。子。爺。外。面。路。相。爺。前。來。看。

读过许多者。喏有三官经。观音经。血盆经。受生经。金闕经。弥陀经。南无经。莲花经。高王经。华严经。太阳经。心经。还有陀罗尼多经。不是十三经吗？^④不是释家之经。是儒家之经。^⑤不啻读书叫念经。丈人阿伯。读书勿用读者。为何

窮人讀書富求求
富人讀書貴求求
想富也貴也有
即伯家王朝千歲做
缺：与家兒花燭

只為金良滿門樓
只想朝中做少候
何用讀書掛心頭
富貴双金勿用求
早拔金結并頭

想你在家就不讀書你做此什麼事
都勿麼了 你有什么害怕 索以趁西景高者未杀人
放火好看 所以一息勿麼了 如此行為你令尊多失訓
只怕你死无葬身之地也 乃舍死葬身之地分明活活
天勿容者 你直結放乃娘个狗屁拖弟進來 你三仇四
勿話起按索以索反來咒罵 尔世子爷 你想想婚姻成
家就賴婚何妨 吓你个老賊 尔有大至恹蓋預呈帝
阿伯作媒 只怕你个吃飯家仗着按做分家者
想交媒人是君皇 勿怕你賴婚起心狼

滿門抄斬的力士
 相爷此刻怒心偏
 困时冷眼观螃蟹
 吩咐家人忙打轿
 不表相爷回家去
 有介个老幼死带未
 太岁头上来切土者
 弟姻④咱⑤万族家
 大出毛竹火梢挽一把
 把老贼赶出去
 快摆沈与帝消
 气⑥
 昨晚得者
 世子爷此刻怒脾⑦
 饮沈消气宽胸

贈与先英兩方

罵我昏君大元相
奴、冤光難伸訴
推升半宿告明月
你是之愛婦娥女
怎生學得婢娥女
惟有奴英多命苦
小姐對月心悲泣
為今怎好此明月
小姐听了言和語
促住、奴家實前講話何人前來插嘴、吓小姐是家教來

不該將奴錯牽線
只將舊債告青天
只見月光照窗前
明月清風自安然
无仇无忘在青天
看來妾處死傷良泉
宿外三生泪珠連
令人听得又慘然
何人前來多插言
吓小姐是家教來

就來你在此做什么、前前未向小姐討還梅花戒子、就來你
的戒子、何而末不須隱滿細、說來、小姐容稟
小姐在上所庇因
家住浙江寧波府
家、建貴為極品
今年、方十六春
看潮失水到泉州
楊媽、相救贈衣衿
家与完英終身可
小姐听了言和語

就來細、告知聞
是海县内王家門
小人三字王應文
去年入洋在洪門
洗尽衣服被賊偷
完英姑娘送飯臨
梅花戒子松相贈
既來催家后代根

吓原來是宰相公子、奴、失敬了、就是家之、后何不早、重、小姐吓
小志、想回家門
腹中饥饿身寒冷
行过你府未曲進
誰知小姐豪門配
進來討還梅花戒
不久就五回家去
家、小姐未初問
小姐听了又心酸
即後店口叫王生
吓王生、听你说來、你与楊氏完英、結為佳偶、想奴与完英

身无分文難起呈
无奈只得走街心
見了小姐親起群
小生在帶一片心
見我元如見完英
意欲上京求功名
小生句、是真性
即後店口叫王生

結拜姐妹、胜似同胞、这梅花戒子、原是奴、贈送与、吓
小姐此刻泪泣、
完英当初也在此
那日姐妹未分別
梅花戒子分两处
但既姐妹重相合
誰知賢妹贈与你
吾奴还戒不能解
奴想賢妹能有福
唯有奴英多薄命

悲、切、弄紗窗
結拜姐妹伴闺房
奴、難舍女紅妝
一只贈他占家邦
一对戒子再成双
見物思情心更伤
权且留在奴身旁
即才女貌配成双
看来不久一命亡

为何弄得这般的

① 应考席未拜别 ② 即别年伯上京歌
 ③ 家人有柳行和孝 ④ 相爷送出大伴门
 ⑤ 不表衣文上京歌 ⑥ 摆表回园女子金
 命申生得孤海，一世终无靠依，如家路内，英只为
 万岁为媒，配与沈好为室，如今家已斗，家去斗，信
 见他同度物，言说冲撞，家见他形状，如同金富
 情若奴与他弟，姻总难在人，思想起，好不伤肝人也
 小姐思得好伤心
 红颜女子多薄命
 不如削发去修行
 可恨废物斗来痛
 丑陋女子做夫人
 断绝红尘一片心

倘若金生道人间
 左思右想无了计
 双膝跪在尘埃地
 拜罢一番相身起
 问王注定三更死
 小姐闺房未上吊
 大家喘得魂飞散
 姑娘苏醒…… ① 小姐苏醒……
 ② 了环快取参汤过来 ③ 晓涛
 ④ 忙忙相救女解
 ⑤ 心位夫人进房
 ⑥ 一根丝带手中存
 ⑦ 断然道不斗五更
 ⑧ 小姐苏醒…… ⑨ 小姐苏醒……
 ⑩ 哭一声 ⑪ 渐心醒 ⑫ 哀痛哭
 ⑬ 奴苦命 ⑭ 好不伤心

恨只恨 怨只怨 命君错配
 大不该 来作伙 配与废人
 害得奴 无处诉 寻死短见
 七位嫂 何苦 相救奴身
 想爹： 奴终身 难已作主
 看起未 小妹妹 留着他用
 斗后来 他追婚 奴命归阴
 千不死 万不死 总熬一死
 可怜奴 女奴英 痛苦万分
 看后来 妾的命 冤作何谗

① 劝姑娘忍耐才是万全皆有天教：设计使了姑娘吓
 ② 沈标夫人劝姑娘 ③ 沈标夫人劝姑娘
 沈标夫人劝姑娘 ④ 沈标夫人劝姑娘
 姻缘原是君王定 ⑤ 静养身休莫愁肠
 还须加意来保重 ⑥ 再表沈标去私访
 不表姑娘回房了 ⑦ 再表沈标去私访
 奉命来完姻，老贼太欺人，堂堂沈标，奉命完姻，斗
 路府成亲，住在公府，勿想老贼，前拜堂，与妾，事闹
 一场，听伊口气，有赖婚之意，妾有皇帝，前做媒，勿信
 老贼赖婚，妾想老贼，吓了环，调包，未与妾成亲，妾乃

今晚得暇有者：亦勿如粉作平民模样，私行斗伊了。
花园，倘若小姐未逛花园，按亦看个明白，日后伊想遇
包，亦就可以认为真假，勿错。伊亦猜了人斗伊了花园里
起走：罢者。

沈标想罢就剪

粉作平民一般形

摇：摆：勿动定

来由已是花园门

冷斗者因门还勿关，伊亦进去，一合穿门个小孩人太
一只脚靴偏着，还好：总环走进第者，只见楼台亭阁
旁竹花板，还可看，且佳，亦在此观看，才话按伊下
着人看见，认得亦了，因亦满身认号斗底，便有者：

葛里有者，亦事带，不免去躲一躲，偷看一番是者

沈标进三秀竹亭

占等佳人斗来临

不表沈标亭中等

五表了环一众人

前世勿肯修，今世做了头，福气也勿仰，吃个酒来穿个绸
住，~~即~~写楼，三名余依伸：手，四季衣衫薄：周，常：
去斗花园逛，看花园：透心天，个中福气也勿仰，下世还
五做了头：阿姐阿妹吟，亦里个小姐早至寻，晚至寻，死
云得七位夫人，都守在小姐房里，勿起逛花园，就流着
催小姐呢，早至者，晚至燕窝者，真当活拔：葛吃力来
者，七位夫人勿起逛花园，陪得昏头搭脑者，~~即~~今朝

个头五假扮夫人小姐去逛花园，乃葛打扮法呢。
少夫人房里个了头打扮少夫人，打扮小姐五哭个，叫谁未
打扮小姐，~~即~~赖头婆鞋者打扮小姐，还有四个，仍旧当了
头，才话呢，勿应，五哥良子二双，个未说话，五哥数了
活常勿起逛，~~即~~死得脚筋抽，活常勿嬉，死得乌比：
大家打扮起来

一众人环偷衣衫

黄头发挽起时，若

八宝珠环褂两边

穿穿绿花官裙袄

桂香打扮假千金

金釵一对左右分

水粉好象石皮瓶

八寸花鞋足下登

手上戴付黄金镯

假装小姐哭啼

吟姑娘倦为余哭个

少时后花园桂花树下坐个，也可消愁解闷，如此

嫂：法，姑娘法

假扮姑娘出园门

一青来斗花园内

七位夫人看花景

秋天树枝多残败

想身奴的终身可

好象一个白乳鞋

来了七位假夫人

有有心了吉，有道静，我生悲，何

如此

一众人环后头跟

现看物景甚轩昂

小姐只是暗伤心

梧桐叶落好凄惶

乃有心思花景恨

① 家要回占潼关去

② 家老妈妈勿讨者与家收入行李回占潼关去起程晓

③ 家人奉命不出行

④ 沈杯思想怒冲

⑤ 可恨妓院心太

⑥ 幸去老来未保佑

⑦ 以斗以处打三回

报与西伯爹得知晚

收入行李下船行

骂声小贼天不后

离退小贼心放粉

还可回家见父翁

大家团团下回云

① 家要回占潼关去

② 家老妈妈勿讨者与家收入行李回占潼关去起程晓

③ 家人奉命不出行

④ 沈杯思想怒冲

⑤ 可恨妓院心太

⑥ 幸去老来未保佑

⑦ 以斗以处打三回

⑧ 家要回占潼关去

他道左还洞房初婚

还玉嫁梳小翠

① 相貌丑陋不象人

② 还是快一起退婚

③ 西伯爹看伊相貌丑陋不堪良心死眼还是快去退婚

④ 是者儿吓你且进去为父与你另配如花似玉之女

⑤ 爹吓路哭吓路哭你有如此大胆竟敢辱骂世子爷

⑥ 且住待家先将小贼离退再拿回圣上便了

⑦ 沈某手执无凭笔

⑧ 一封退书来写好

⑨ 店口就把家人叫

⑩ 家将

⑪ 家将有书便一封速往泉州府晋江县路村校弟

⑫ 不要回文速去速回不得有快

⑬ 曼表千岁上京城

⑭ 晴行在宿元担担

⑮ 不日进了晋江县

⑯ 店口就把门官叫

⑰ 交代书信回身占

⑱ 急往店底果相爷潼关千岁有书信一封呈上未去不

⑲ 玉回文待家看未哩既来是一封退婚书且住待家进

① 内与贤者们商议来至内堂分在上媳妇万福吓

② 贤者一旁坐下未知公进来有何吩咐非为别至

当在

相貌丑陋不象人

还是快一起退婚

西伯爹看伊相貌丑陋不堪良心死眼还是快去退婚

是者儿吓你且进去为父与你另配如花似玉之女

爹吓路哭吓路哭你有如此大胆竟敢辱骂世子爷

且住待家先将小贼离退再拿回圣上便了

沈某手执无凭笔

一封退书来写好

店口就把家人叫

家将

家将有书便一封速往泉州府晋江县路村校弟

不要回文速去速回不得有快

曼表千岁上京城

晴行在宿元担担

不日进了晋江县

店口就把门官叫

交代书信回身占

急往店底果相爷潼关千岁有书信一封呈上未去不

玉回文待家看未哩既来是一封退婚书且住待家进

内与贤者们商议来至内堂分在上媳妇万福吓

贤者一旁坐下未知公进来有何吩咐非为别至

今日晚来有书信来为公拆书观看原来是一张退书
还至为上殿面圣吓公既是退书就可为凭面圣何妨
对面前何妨如此为公去也
① 媳妇们候送来响打道进京
② 妻妾相爷上京城
③ 王表因附女千金
④ 心中暗喜十分
⑤ 迎接完英身来临
⑥ 因言就把破叫
吓众位嫂：我想完英妹去接他外来叙谈心挂未知嫂
尊意如何
⑦ 姑娘言之有理了环你去叫家人打轿斗杨
家接二小姐来不得有候
⑧ 了环晓得

① 环奉命不出行
② 家人备轿去如云
③ 天标听了多明白
④ 完英姑娘遵定命
⑤ 拜别爹娘身上新
⑥ 了环急忙来通报
⑦ 二姑娘进内堂众位嫂
⑧ 姑娘请进坐定身
⑨ 八位姑娘并切问
⑩ 完英姑娘回言答
将言吩咐家人
未斗杨家就分明
进房说与女儿听
腹中暗喜十分
一路踏进府门
姑娘一齐出来迎
⑪ 了环即使送香茗
⑫ 嫂：姐：在上听

① 夫人吩咐忙摆洗
② 了环急忙摆洗晏
③ 加至数杯建席散
④ 打发了环出房去
⑤ 自从姐妹来分别
⑥ 奴有一对梅花戒
⑦ 压说姐妹来相会
⑧ 奴一只今还在
⑨ 完英所言吃一惊
⑩ 奴也是体安守
⑪ 款待二姐女千金
⑫ 大家谦逊坐分宾
⑬ 姐妹携手进房门
⑭ 关门后只同一声
⑮ 惟恐日久两疏挂
⑯ 一只赠与贤妹身
⑰ 戒子感对两安心
⑱ 贤妹一只可在身
⑲ 姐：问我为何因

① 心中思想生巧计
② 姐：只因家父少钱用
③ 妹英听说怒气生
④ 怎说今尊少钱用
⑤ 你今休得来暗索
⑥ 梅花戒子感双对
⑦ 不克英一兄魂不在
⑧ 因何落在小姐手
⑨ 注问姐：何处置
⑩ 贤妹你知言巧语来骗家
⑪ 就把姐：叫一声
⑫ 戒子弟换日花良
⑬ 三暗四不接因
⑭ 怎说弟换日花良
⑮ 你的戒子在身
⑯ 注你自己看分明
⑰ 想奴乃日赠王生
⑱ 不顧羞愧回一声
⑲ 多少良子来进门
⑳ 休想为姐说真话

劝姐切莫怒气生
乃曰家姊奔河边走
蒙住守渡定河县
今年：方十六春
只为看潮身失水
家姊一見將他救
小妹与他改牙訂
爹：將他來背出
小妹真怪未說出

小兒一、皆震性
遇見一位小書生
三字名曰王虛文
十五歲上入泮門
浸在河中无計生
將他留住贈衣於
楊花飛子贈玉生
望斷秋水无音信
还恐姐姐說其性

你說書生王叔文
却被家爹不看見
送茶露出楊花散
他將真話告訴家
庄未幾又將真情
奴想順妹有福份
唯有姦英漢命人
難計（注）你是豪門多錢女
郎才女貌同千金
邊表國攝情由

那日路過后花園門
 將他引進在府門
 奴見了問其情
 為姐才知內中情
 叫他上堂趕功名
 訴說
 你心如意好郎君
 不設你賢妹半毫分
 相村門第園千金
 風雲霞佩做夫人
 再教唐王坐花庭

河清海晏國泰民安懷實為大唐天子是也。自從登
基以來刀槍入庫馬放青山雨調雨順國泰民安此乃
一朝之洪福也。今當大朝日期侍兒侍兒放虎門侍兒萬歲有旨
放虎門侍兒臣等見駕吾主萬歲侍兒众卿平身侍兒萬萬歲
侍兒众愛卿今召大朝日期有奏上无退班侍兒臣平西王沈
某有本侍兒奏侍兒臣店萬歲臣子沈杯蒙圣恩作
伐駱賓之女配与臣子為室臣子去外他家臥寐駱賓不
允斗也侍兒臣子反而辱罵臣子有賴婚之意侍兒臣子降旨
大胆駱賓你女寡人為媒配与平西王為媳你敢國賴
婚姻該當何罪侍兒臣店萬歲拜是微臣有賴婚之意

乃沈某將家女鬻退。今有沈某來第退。呈上。泣萬分。
 虎目觀看。^①大胆沈某你係全是顛倒。是非混淆黑白。
 身有黑元帥劣班戾道。吓嚇萬安吓。沈某父子有謀叛
 之心。意欲高兩借兵十萬。來進中流。要奪取錦江上。
 現有私通反右呈上。待窮人看來。呵可怪。大胆沈某。
 窮人何等看待与你。你起不良之心。以武士上殿。^②在將
 沈某父子。邦云殿外。本該斬首。念其昔日亦有功。从
 寬發落。多押邊差充軍。永不回川。前起程。^③領旨。
 黑元帥劣自有功。封為武鎮將軍。永鎮潼关。
 領旨。駱愛卿。过幸所旨。^④臣在。待等大典。挑選才貌。

双全之人指为东床客人为媒与妓女配完花烛谢恩
退班④谢主恩

駱相父子为朝门

再表考期并奉

考官登堂未坐定

孝子均进坊临

奉旨考奇才

孝子进坊来三场文字端立选状元部

老翰林院吉天祥奉旨考取天下奇才来叩

把首院门大开⑤左首院门⑥右首院门⑦

生员天字号

孝子均上堂领对⑧法太师

题目⑨

以吹马属千条线⑩对就⑪日照龙鳞万点金

好秀才

龙虎日看榜⑫谢太师⑬地字号领对⑭法太师

吃牛肉⑮出题目⑯才子⑰出题目⑱前面一只雄鸡后面一只

雄鸡追来以道起⑲好一对夫妻⑳初看⑲做看生经

一卷来常看前头一只雄鸡后头一只雄鸡好象是夫妻

师中娘舅⑳文才下流⑲出首院⑲做家定

赶来看⑲三年勿来者考坊首有荣还居起更

太师⑲起⑲孝子文才上殿奏皇朝⑲

起⑲上朝⑲

不表考官上朝起⑲

万安御笔来章⑲

榜眼亦在案前⑲

头居状元王庭文⑲

榜眼亦在浙江人⑲

状元步入金塔上①臣叩君王万年

臣科状元见驾家主万安②本年殿元公见房人因何不

拾头③容貌丑陋不敢拾头④容貌乃是父母生就胆大拾起头

来⑤法万安龙目观看⑥孝子才貌双全房人存心大喜奉

旨降街三天状元就奏房人俱已明白爱卿为看潮失水多

有功钦赐八品官常卿妻杨氏完英封为二品淑法夫人朕

为媒娶之文駱氏姣燕配与状元为室封为一品淑法夫

卿父母身居极品爱卿祭祖归家奉旨完姻⑦早来京

受职谢恩去罢⑧万安⑨万安

状元谢恩出朝门⑩心中欢喜非常

多蒙万安为月老⑪駱氏姣燕配成双

上京得中为魁首⑫拜官祭祖归家邦

不表状元回家了⑬提表相爷把话讲

将话说与众人晚⑭合家欢喜喜非常

为边家人听着你们速备轿子去接杨天标夫妇来⑮

家人奉命去如云⑯来拜杨家说虎因

天标夫妇多欢喜⑰夫妻双双就起呈

行来已拜相府地⑱相爷即送出迎

相爷在上杨天标夫妻叩头者⑲不敢语起相爷呼唤杨

天标夫妇进府有何吩咐。相爷把前后传由细说一通。天标夫妻闻言好不欢悦人也。

难将皇帝做媒人

多蒙相爷来接拜

揀选黄道吉日

不表送亲佳由了

① 报王相：相公将中头名状元唐奉者。

② 有这等才真：谢天谢地。待家前去看来。未至方厅。

相公在上。老奴王法叩头。③ 老人家法起。难将你忠心义胆。

老人家受小生拜。④ 吓这是使不得的。岂非折死老奴了。

即因配与状元才

接家夫妻进府门

一同送亲去完姻

再表状元拜家门

⑤ 真当唐奉者

胡跪。⑥ 其当唐奉者

待家前去看来。未至方厅。

难将你忠心义胆。

相公作别斗如今

总道今生难相会

何人前未相教你

⑦ 状元即使回春春

在文就把性由许

自从看潮来失水

多蒙杨妈来相救

后来进入路相村

多方路相爷来接拜

相爷听了多欢欣

老奴在象好伤心

谁知今日又逢逢

老奴跟前说仔细

就把王法叫一声

一：从夫说分明

在潮溪入金麒麟

与他女儿交订终身

内外出入书童称

亲将真性说他听

赠金帛上京做

考试得中第一名

云你一片忠心义

不表主仆来谈讲

⑧ 家人进内报下佳

在报状元老爷外面文武官员齐拜。有名帖呈上。

吩咐下。⑨ 文武官员面衙理。⑩ 法定海县郑大人进见。

吩咐下。⑪ 文武官员面衙理。⑫ 法定海县进见。

晚生有礼。⑬ 不敢状元公呼喚卑职有何貴至。

神殿代为非心修理。完果之后待晚生拈香。

就此告退。⑭ 候送。⑮ 打轿。

知县告别转家门

吩咐二匠修殿庭

不多几日本修毕

祝告已毕回家占

⑯ 状元上殿了还愿心

⑰ 家人重又报下佳

报路相爷与杨老爷太。送小姐斗。⑱ 大开正门出外迎接。

二位岳父也。⑲ 状元女婿大姓各法。咳。今都就状元生得。

好。仰家素雅一瞧。喂。家主要家看。家看。状元老爷。

好多归年。头八月里。风阳。⑳ 依了老舅家。眼力才好。

⑳ 因边家人所着。上棚灯结彩。下红毡。铺地。点起龙凤。

烛。传宴相。⑳ 来者。家做宴相。候龙。响。看。见。真。元。

奉冒祭祖转家门

你是家最大恩人

家人进内报下佳

在报状元老爷外面文武官员齐拜。有名帖呈上。

吩咐下。⑨ 文武官员面衙理。⑩ 法定海县郑大人进见。

吩咐下。⑪ 文武官员面衙理。⑫ 法定海县进见。

晚生有礼。⑬ 不敢状元公呼喚卑职有何貴至。

神殿代为非心修理。完果之后待晚生拈香。

就此告退。⑭ 候送。⑮ 打轿。

知县告别转家门

吩咐二匠修殿庭

不多几日本修毕

祝告已毕回家占

⑯ 状元上殿了还愿心

⑰ 家人重又报下佳

报路相爷与杨老爷太。送小姐斗。⑱ 大开正门出外迎接。

二位岳父也。⑲ 状元女婿大姓各法。咳。今都就状元生得。

好。仰家素雅一瞧。喂。家主要家看。家看。状元老爷。

好多归年。头八月里。风阳。⑳ 依了老舅家。眼力才好。

⑳ 因边家人所着。上棚灯结彩。下红毡。铺地。点起龙凤。

烛。传宴相。⑳ 来者。家做宴相。候龙。响。看。见。真。元。

奉冒祭祖转家门

你是家最大恩人

家人进内报下佳

在报状元老爷外面文武官员齐拜。有名帖呈上。

吩咐下。⑨ 文武官员面衙理。⑩ 法定海县郑大人进见。

吩咐下。⑪ 文武官员面衙理。⑫ 法定海县进见。

晚生有礼。⑬ 不敢状元公呼喚卑职有何貴至。

神殿代为非心修理。完果之后待晚生拈香。

就此告退。⑭ 候送。⑮ 打轿。

知县告别转家门

吩咐二匠修殿庭

不多几日本修毕

祝告已毕回家占

⑯ 状元上殿了还愿心

⑰ 家人重又报下佳

报路相爷与杨老爷太。送小姐斗。⑱ 大开正门出外迎接。

二位岳父也。⑲ 状元女婿大姓各法。咳。今都就状元生得。

好。仰家素雅一瞧。喂。家主要家看。家看。状元老爷。

好多归年。头八月里。风阳。⑳ 依了老舅家。眼力才好。

⑳ 因边家人所着。上棚灯结彩。下红毡。铺地。点起龙凤。

烛。传宴相。⑳ 来者。家做宴相。候龙。响。看。见。真。元。

志話壁牆大富要殿長...介未承來贊札者
伏以水上對金鷄浮風凰一對結為姻山水相離
同羅帳一夫兩婦如初...冥相好言贊紅妝三話
駢馬入竿堂法拜

③ 四拜天來四拜地

回身四拜祖先堂

再拜堂上老人

壽紅樓步人洞房

光臨迅速容易過

④ 兩位夫人多几郎

兩位夫人一生一壽

又有兩位公子郎

曼表鴻子性由多

⑤ 姣英夫人把酒講

吓賢妹想奴萬歲為媒錯配沈標是前世宿債

之故受了多少磨難如今要看破紅雲以修來世
① 姐小妹早有心不如同修行正說之間 狀元步
入內堂吓三位夫人講出什麼 吓相公想是為人之苦也

可敬為人不肯修

受盡受難難離離

為人可比春草

作我親兒不拜天

奴今看破紅雲界

奉勸相公早一修

② 狀元即候回書答

下官任滿回堂修

狀元任滿回家夫妻二人依歸同修 楊天標狀元見
几婿們修行也覺回心轉意同修佛道 壽數
已盡無疾歸天 狀元如來治喪 葬在安葬山

夫妻二人修到三千年后 ⑥ 太白金星接拜玉旨一道
所出讀讀日人由王英文是文曲星下凡投入盤
駱氏姣英楊氏虎英是月宮仙女下凡投入紅雲功
夫修到同歸二位二位公子出仕為官下世分
候之位 王桂芳 姣英虎英是前府府四回恩怨
分明 忠孝双全 大聚團圓 拜謝皇恩天德也

双喜堂花堂完

目將圓來花堂解

二位夫人月宮女

大駕臨神有奉送

吓東功大同修通

隋洛紅生還熱前

吓東功大同修通

仍作常娥月里仙

留下兩位賢公子
駱相府未善心恩
王德為夫多仁心
天標夫如后修通
沈家父子多開險
阿彌陀佛多念
一言能知元童福
不信但听双英卷
今日立部双英卷

也是唐朝伴君前
修功圓滿上兩天
壽高歸天好安眠
无病无疾升西天
边夫元早矣可恨
勿費工夫勿費錢
千金難買子孫賢
不似菩薩也做仙
一年四季保平安